

《目標設定時公表項目》

目標設定の視点	運営目標	管理指標・数値
利用者サービス	<ul style="list-style-type: none"> 安全を最優先にした適切な修繕工事の実施 教室事業の拡大 	<ul style="list-style-type: none"> R4年度修繕予算 5,630千円の執行 年間教室開催数 3,000回以上
業務運営	<ul style="list-style-type: none"> 施設全体の利用者数向上 地域連携事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 延べ利用者数 188,000人 連携事業実施回数 4回以上
職員育成	<ul style="list-style-type: none"> 利用者満足度向上 職員研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 満足度調査での満足以上の回答 80%以上 研修開催 10回以上
財務	<ul style="list-style-type: none"> 利用者増による利用料収入増 	利用料 47,782千円

《実績評価時公表項目》

目標設定の視点	運営目標	管理指標・数値	実績値	目標との差異	今後の取組(改善計画)
利用者サービス	<ul style="list-style-type: none"> 安全を最優先にした適切な修繕工事の実施 教室事業の拡大 	<ul style="list-style-type: none"> R4年度修繕予算 5,630千円の執行 年間教室開催数 3,000回以上 	<ul style="list-style-type: none"> 5,725千円の施行 年間教室 2,853本 	<ul style="list-style-type: none"> 95千円 ▲147本 	<ul style="list-style-type: none"> 概ね予算どおり突発修繕(火災報知器)あり。優先順位を明確に予算執行に取り組む 10月プール閉業の為、未実施教室あり
業務運営	<ul style="list-style-type: none"> 施設全体の利用者数向上 地域連携事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 延べ利用者数 188,000人 連携事業実施回数 4回以上 	<ul style="list-style-type: none"> 178,983人 7回実施 西S協会 2回 野毛山荘 5回 	<ul style="list-style-type: none"> ▲9,017人 3回 	<ul style="list-style-type: none"> 利用制限の撤廃にて、令和5年度は目標数値との差異を無くす 令和5年度も継続して実施
職員育成	<ul style="list-style-type: none"> 利用者満足度向上 職員研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 満足度調査での満足以上の回答 80%以上 研修開催 10回以上 	<ul style="list-style-type: none"> WEBアンケート 43.75% 教室アンケート 43.0% 入社時研修 3回 継続研修 4回 コンプライアンス及び人権 4回 計 11回実施 	<ul style="list-style-type: none"> WEB: ▲36.25% 教室: ▲37% 計画通り 10回以上(11回開催)を確保 ※個別研修含まず 	<ul style="list-style-type: none"> 30%層の「やや満足」を満足に上げる為に、広く要望に応えられるようにする 特にハラスメント(人権)に関する研修に注力した
財務	<ul style="list-style-type: none"> 利用者増による利用料収入増 	<ul style="list-style-type: none"> 利用料 47,782千円 ※利用料金収入+時間外利用料金収入 	<ul style="list-style-type: none"> 37,997千円 ※利用料金 37,344千円 時間外 653千円 	<ul style="list-style-type: none"> ▲9,785千円 ※利用料金収入(時間外)の乖離幅大 	<ul style="list-style-type: none"> 広報活動を通じ、年間の利用者数をあげると共に、利用料収入をあげる

令和4年度 横浜市西スポーツセンター事業計画書

1 施設の管理運営の基本方針

■基本コンセプト

『区民に愛され、区民の健康と生きがいを創出するグローバルな施設運営を目指す』

西スポーツセンターは、区民のスポーツ及びレクリエーション等の振興と区民の心身の健全な発達に寄与することを目的に、地域スポーツ振興の拠点として整備され、本施設の運営には、設置目的や立地環境、地域のニーズ等を踏まえ多くの区民がスポーツに親しむ教室事業の展開、サークル活動の支援、共生社会の推進、多様化する区民ニーズへの対応、総合型地域スポーツクラブの活動や地域スポーツ指導者の養成等の地域における健康づくりの活動拠点として、地域住民の交流や地域活性化を図ってまいります。

中国をはじめとする数多くの外国人の居住や、みなとみらい地域での再開発によるニューファミリー層・子どもの増加、いまだ課題である高齢化問題など、西区が抱える課題を解決できるよう、年代による健康弱者がでないよう全世代で楽しめるスポーツ事業を展開が必要です。

これらの課題に対し、創業35年を越える代表団体の持つ「地域に根付いた運営のノウハウ」と「フィットネスに関する知識・経験」、そして長年の公共施設の受託運営で培ってきた構成団体の「官民連携事業における安心感・安定感」をもって、西スポーツセンターを運営し、地域に密着した運営を行います。

令和4年度 横浜市西スポーツセンター事業報告書

1 施設の管理運営の基本方針

令和4年度は基本コンセプトを基に運営致しました。

新型コロナウイルス感染症の対策を重点に、スポーツ及びレクリエーションの振興に注力致しました。西区区民や横浜市市民の方々に「安心、安全」に施設をご利用頂けるよう、前指定管理者からの運営を継続しつつ、弊社の「フィットネスに関する知識と経験」を発揮し、暗転運営を心掛けました。

年間を通じて、前例にとらわれ過ぎず且つご利用者目線で新たなチャレンジを念頭に、スタッフ全員で試行錯誤をしながら運営を致しました。

引続き「全世代で楽しめるスポーツ事業」を展開して参ります。

2 基本方針を実施する為の目標及び実施策

(1) 重点項目

当団体では、第四期指定管理期間の運営において、下記の5つの管理運営の基本方針を掲げています。

【基本方針①】

感染症対策の徹底と安全・安心・快適な施設運営

【基本方針②】

地域とのつながりを大切にしたスポーツ振興事業への取組強化

【基本方針③】

誰もが身近に感じ「健康づくり・生きがいづくり」ができる施設づくり

【基本方針④】

西区の健康づくりの取組と連携したお客様が満足する新たなサービスの創出

【基本方針⑤】

SDG s の理念に沿った統合的取組による環境・経済・社会における新しい価値の創出

上記の基本方針に沿って、令和4年度は次の業務を重点的に取り組みます。

- ①感染症対策の徹底における利用者とともに推進していく感染症予防対策の徹底
- ②多様なライフスタイルに対応するためのスポーツに親しむ新たな運動提供方法の実践

(2) 数値目標

□延利用者数	188,000 名
※コロナ感染状況を鑑み修正	
□利用料収入	47,782 千円
□教室事業収入(文化系教室含む)	59,294 千円
□健康増進プログラムの実施	3,000 本以上/年の開催

2 基本方針を実施する為の目標及び実施策

(1) 重点項目

第四期指定管理期間の運営において、下記の5つの管理運営の基本方針を掲げ運営しました。

【基本方針①】

適宜、ガイドラインに基づいた対策の徹底実施。年度内のガイドラインの変更に柔軟に対応し、施設内でのクラスターの発生防止に努めた。

【基本方針②】

地域スポーツ振興として、西区スポーツ協会との連携を深め、「さわやかスポーツ事業推進」を実施した。また町内会との美化運動（浅間町車庫前公園内の掃除）を通じて、町内会との交流を深め、スポーツ振興に繋げられる様にコミュニケーションの強化を図った。

【基本方針③】

接遇応対研修の実施と強化により、身近に感じやすくも節度ある関係を利用者と創造できるようにした。特にコロナ禍にて施設利用が遠のいた方々への再来館の機会を講じる為、トレーニング室内で講習会を実施した。

【基本方針④】

運動初心者向けのレッスン（パワトレ）導入や弊社他店舗での実績のあるインストラクターのレッスンを導入する。トレーニングルーム内の密を防ぐ為、ストレッチエリアの新設。初心者から幾年も通われている方々にも満足頂けるサービスを創出した。

【基本方針⑤】

館内施設管理システムを把握し、常勤社員へ伝達を実施。日常巡回点検時に「電気・ガス」に係わる機器の運用状態を確認し、連続運転をしない様に管理をしている。

(2) 数値結果

■延利用者数	178,983 名 (対目標：▲9,017 名 95.2%)
■利用料収入	37,997 千円 (対目標：▲9,785 千円 79.5%)
■教室事業収入(文科系教室含む)	36,759 千円 (対目標：▲22,535 千円 61.9%)
■健康増進プログラムの実施	2,853 本 (対目標：▲147 本 95.1%)

※当日教室、定期教室の実施プログラム

※令和4年10月3日～11月2日まで、プール天井調査による1ヶ月間の休場の為、未実施教室あり

3 施設の平等・公平な利用の確保について

(1) 公共性・公平性に基づいた利用の確保

ア 趣旨

地方自治法第 244 条や横浜市市民活動推進条例、横浜市スポーツ施設条例等関連法令の趣旨を正しく理解し、全ての利用者に対して適切な利用許可や調整方法を提供するよう取り組みます。

イ 具体的取組内容（実施事項）

① コンプライアンスを重視した運営

- ・対象となる法令等の理解

② 職員の心構え

- ・横浜市職員行動基準の理解

③ 人権尊重への取組

- ・人権研修の実施

④ 反社会的組織への対応

- ・委託先/発注先企業に対し反社会的勢力排除に関する誓約書の提出義務

⑤ 利用者に対する平等利用

- ・利用許可の案内、提示
- ・利用許可の権限の理解
- ・予約システムを活用した公正な抽選での利用許可
- ・優先利用枠の確保
- ・利用料金の徴収
- ・減免利用対応

⑥ ユニバーサルデザインの推進

- ・視覚障害者（読み上げ、点字表示等）
- ・聴覚障害者（筆談）

⑦ LGBT の方への配慮

⑧ 高齢者への配慮

- ・情報ツールの選定
- ・ゆっくりとした対応

⑨ 子育て世代への配慮

- ・託児事業の実施 ※コロナ感染状況により実施しないこともあります。

⑩ 来館初心者への配慮

- ・初心者カードの発行

3 施設の平等・公平な利用の確保について

(1) 公共性・公平性に基づいた利用の確保

ア 趣旨

的確な判断にて全てのご利用者様に平等・公平な利用の確保に努めました。施設側で判断が難しい案件については、適時弊社関連部署や西区と協議して運営に取り組みました。

イ 具体的取組内容（実施事項）

① コンプライアンスを重視した運営

対象となる法令等の理解するよう、東急不動産 HG の年 2 回の研修、社会全体で問題となった事案を問題集として従業員に配布するなど、法令遵守に努めました。

② 職員の心構え

公共施設の従業員として、常にご利用者目線での接客に努めました。

③ 人権尊重への取組

コンプライアンス研修及び人権研修を e ラーニング（キャリアシップ）を使用し実施。研修完了後にはテストを実施する事で、100%の研修完了を徹底しました。

④ 反社会的組織への対応

取引先への反社会的勢力排除に関する誓約書の提出を求め、運営して参りました。また、施設利用団体の利用状況も確認しながら、反社会的組織の利用防止に努めました。

⑤ 利用者に対する平等利用

施設予約システムの事前研修をしっかりと実施しながら不正予約等が発生し無いようにすると共に、条例に基づいた減免対応を実施致しました。

⑥ ユニバーサルデザインの推進

2階エントランス付近の点字ブロックの補修を実施し、安全に施設内を移動できるように導線上に弊害物が無いように点検を実施致しました。また、WEB アクセシビリティを意識した情報の配信や聴覚障害をお持ちの方には、筆談（ブギーボードの設置）にてご案内が出来るようにしております。

⑦ LGBT の方への配慮

社内研修を通じ、従業員の認識を高め配慮ある対応に努めました。

⑧ 高齢者への配慮

館内案内図には写真付きの案内板、見やすいフォントを使用した POP の掲示。スマートフォンや WEB を使用した教室申込の際には、実際にスタッフがご一緒に機器の取り扱いを実施するなど、配慮ある行動に努めました。

⑨ 子育て世代への配慮

コロナ禍での運営の中、託児事業については現在のところ未実施です。西区地域子育て支援拠点「スマイルポート」との情報交換を実施。

⑩ 来館初心者への配慮

初心者カードの発行は未実施。来館初心者への実施手法を見直し、令和 5 年度は「初心者向けサポートプラン（運動の提案）」を定期的に開催します。

3 施設の平等・公平な利用の確保について

(2) 多言語化に関する取組

ア 趣旨

現在も多くの外国人の方が施設を利用しています。国際性豊かな多文化共生社会の実現に向け、多くの方が困らないような対応をします。

イ 具体的取組内容（実施事項）

①外国人利用者の対応

- ・多言語情報マニュアルを参考にした案内作成
- ・「やさしい日本語」の活用

②利用案内等の多言語化表記

- ・リーフレット等の多言語対応した作成

③ピクトグラムを活用した案内表示

- ・トイレ等の案内表示
- ・教室案内等の表示（初心者、シューズの有無等）

④携帯翻訳機器の活用

- ・ICTを活用したコミュニケーション

3 施設の平等・公平な利用の確保について

(2) 多言語化に関する取組

ア 趣旨

国際都市である横浜の公共施設として、ご不便を軽減する接客対応を心掛けております。

イ 具体的取組内容（実施事項）

①外国人利用者の対応

多言語情報マニュアルを参考にした案内については未実施です。

令和5年度については、マニュアルを基に作成致します。

ゆっくりとした言葉選びと解りやすい日本語を使用してのご案内をしています。

②利用案内等の多言語化表記

国際言語である「英語」表記のリーフレットを設置しております。

③ピクトグラムを活用した案内表示

館内案内の多くに「ピクトグラム」を使用しております。

また、必要に応じて英語表記もしております。

④携帯翻訳機器の活用

社用スマートフォンに翻訳アプリを入れており、必要に応じて対象者の言語と日本語でご案内をしています。実際に外国籍（ドイツ）の障害をお持ちの方とも、こちらのアプリを使用してご案内した実績がございます。

3 施設の平等・公平な利用の確保について

(3) 障害者の利用支援に関する取組

ア 趣旨

横浜市では、長期的な計画である「障害者プラン」を平成16年に策定しています。その後令和3年から「第四期プラン」が策定され、障害者が自己選択・自己決定のできる社会構築という視点を中心に施策を推進しています。「横浜市障害者支援施設の設備及び運営の基準に関する条例」や「障害者差別解消の推進に関する取組指針」も定められています。当団体でも積極的に障害者支援についての取組を行い、障害者の方が安心して来場できる環境を整備します。

イ 具体的取組内容（実施事項）

① 不当な差別的な取扱いの禁止

- ・ 不当な差別の禁止
- ・ 合理的配慮の推進

② 障害者スポーツへの取組

③ 障害者スポーツ指導員の資格取得

- ・ 障害者スポーツ指導員（初級）の取得

④ 障害者スポーツをする場・体験の場を提供

- ・ 障害者イベントの実施（1回/年）

⑤ ハマピックへの参加支援

- ・ ハマピック参加者への練習場所の提供

⑥ 障害者団体との連携

- ・ 横浜市知的障害者育成会との連携
外構清掃等を当職員と実施

3 施設の平等・公平な利用の確保について

(3) 障害者の利用支援に関する取組

ア 趣旨

障害のある方が安心して施設利用を考えたり、施設をご利用できる環境と情報の配信を心掛けております。施設利用者のみならず、トイレ利用に立ち寄られた車いす利用の方から、施設見学を実施したいとのご要望を頂き、一緒に館内を廻りながら、どの様に安心して施設をご利用頂けるのか、ご本人と共に寄り添った対応もできました。

イ 具体的取組内容（実施事項）

① 不当な差別的な取扱いの禁止

社内研修はもちろん、常に寄り添った接客を実施しております。

プール利用者の方でいつも元気よく挨拶をしてくれる方も、安心して施設利用できているからこそと思います。

② 障害者スポーツへの取組

横浜市障がい者スポーツ指導者協議会主催の講習会や研修会に参加し、横浜市西スポーツセンターで実施できる競技（ボッチャ等）や指導者育成の連携を図っております。

③ 障害者スポーツ指導員の資格取得 ※令和5年度から(財)名変更

公益財団法人 日本パラスポーツ協会 初級パラスポーツ指導員

- ・ 2022年4月1日付 資格認定 櫻井 康隆 (131739)

- ・ 2023年4月1日更新 以降、年度毎の登録

令和5年度中に「神奈川県障害者スポーツサポーター」の認定講習会に常勤社員が参加予定

④ 障害者スポーツをする場・体験の場を提供

- ・ 障害者イベントの実施（1回/年）

コロナ禍の中、イベント開催ができなかった。

⑤ ハマピックへの参加支援

令和4年度についてはコロナ禍での開催として、施設を貸出での支援はできなかった

⑥ 障害者団体との連携

横浜市知的障害者育成会との連携は未実施。令和5年度中に再度面会させて頂き、協力体制を図ります。

保土ヶ谷養護学校との連携により、児童の職業支援学習の協力を実施。

施設リーフレットの作成や必要書類の折込作業などを実施して頂きました。

4 施設の効用の最大限発揮について

(1) 利用者本位のサービス提供

<p>ア 趣旨</p> <p>設置目的である横浜市スポーツ施設条例に掲げる「スポーツ・レクリエーション等の振興を図り、市民の心身の健全な発達に寄与する」を理解し、また来たいと心から思える施設運営に取り組めます。</p> <p>イ 具体的取組内容（実施事項）</p> <p>① 営業時間の延長</p> <p>令和4年4月時点では、同3月の営業時間(午前9時～午後9時)を踏襲しますが、コロナ感染状況をみて、協議の上、年度内に午前7時30分からの早朝営業、午後11時までの深夜営業の再開を検討、実施</p> <p>② 館内美化の徹底</p> <p>「Walk Through」を活用した美化及び安全啓発</p> <p>③ 接客研修によるサービスの質の向上</p> <p>利用者アンケートによる評価の確認</p> <p>④ 見やすい館内掲示</p> <p>ピクトグラム、大きい文字を活用した掲示物の作成</p> <p>⑤ 適正な空調管理による快適な運動環境の提供</p> <p>⑥ 故障箇所の早期修繕</p> <p>「Walk Through」による施設・設備の巡回確認による早発見、早期対応</p> <p>⑦ 感染防止策の実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者とともに進めていく感染予防対策の徹底 ・感染状況に応じたロッカー、トレーニング室、教室事業の定員設定 ・ベンチ等の間隔をあけた使用 <p>⑧ 利用者からの意見の収集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各媒体で届いた利用者からのご意見に対し72時間以内に返答 <p>⑨ 運動用具(道具)の貸出・卓球ラケット、バドミントンラケット等の貸出</p> <p>※コロナ感染状況による</p> <p>⑩ 運動用具(道具)の販売・水着、スイム小物の販売</p> <p>⑪ 貸室利用の設営支援</p> <p>⑫ トレーニング室での随時案内</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初心者向け説明会の実施やメニュー作成 <p>⑬ アプリを活用したトレーニング管理・OASIS LINKを活用したトレーニング管理</p> <p>⑭ キャッシュレスでの支払対応・クレジットカードや電子マネーでの支払い対応</p> <p>⑮ 公衆無線LANの設置・2階および3階に無料Wifiの設置</p> <p>⑯ 施設の混雑状況の配信・SNSを活用して施設の混雑状況を配信</p>

4 施設の効用の最大限発揮について

(1) 利用者本位のサービス提供

<p>ア 趣旨</p> <p>事業計画にある通り「スポーツ・レクリエーション等の振興を図り、市民の心身の健全な発達に寄与する」を理解し、また来たいと心から思える施設運営を心掛け取り組みました。</p> <p>イ 具体的取組内容（実施事項）</p> <p>①営業時間の延長：令和4年10月より「21:00～23:00」を再開</p> <p>②館内美化の徹底：従業員の館内巡回点検時に美化活動（清掃や掲示物）を実施</p> <p>Walk Through＝ゴミをまたがない等、施設巡回時に実施。</p> <p>③接客研修によるサービスの質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ：Eラーニング研修の実施と社員による接客対応研修の実施 ：アンケート（教室、一般利用）によりニーズの把握。新サービスの構築。 <p>※アンケート結果より「ストレッチエリアのパーテーション設置や人工芝の設置」などを実施した。</p> <p>④見やすい館内掲示：オアシスブランドデザインのピクトグラム使用にて掲示</p> <p>⑤適正な空調管理による快適な運動環境の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ：始業時、営業時間中と館内巡回にて空調システムを活用して管理 <p>⑥故障箇所の早期修繕</p> <ul style="list-style-type: none"> ：利用者目線にて、不備箇所の早期発見と修繕の実施。トレーニングルーム継承備品の改修（レザー交換）。各階トイレの診断を専門業者に依頼し、適時交換作業を実施している <p>⑦感染防止策の実践：各貸室や教室の参加者定員を設定。ガイドライン緩和と共に定員数を徐々に増やした。都度の除菌作業や間隔開け設定にてクラスター発生無し</p> <p>⑧利用者からの意見の収集</p> <p>オアシスカスタマーセンターへの問合せについて、72時間以内に回答や早期対応が必要な事案については、24時間以内の対応を心掛けている。</p> <p>⑨ 運動用具(道具)の貸出：コロナ禍にてレンタルの一時中止</p> <p>⑩ 運動用具(道具)の販売：計画通りの販売を実施</p> <p>⑪ 貸室利用の設営支援：計画通りの支援実施</p> <p>⑫ トレーニング室での随時案内：感染対策をしつつ対面での接客を実施。スタッフによるトレーニング機器の説明と指導を実施。定期的にトレーニング講習会を実施（事前予約制）。令和5年度には当初提案通りの「メニュー」を作成し運用予定。</p> <p>⑬ アプリを活用したトレーニング管理：令和4年度中は未実施。リアルトレーニングを先決に考え、トレーニング室の利用者数をコロナ前に戻す事を優先。今後、アプリ（WEBGYM・OASISLINK等）を活用できる様に致します。</p> <p>⑭ キャッシュレスでの支払対応：交通系IC、各種クレジットカードの利用を可能としている。教室及びイベントの参加費はWEB決済も対応している。</p>

⑰空き枠情報の発信

- ・メインアリーナ等の予約状況(空き状況)の発信による利用促進

⑱各媒体を活用した情報発信

- ・ホームページ、区報、SNS 等を活用した施設情報の配信

⑮公衆無線 LAN の設置：2 階及び 3 階ロビーでのサービス実施

⑯施設の混雑状況の配信：Twitter にて利用状況と混雑状況を適時配信

⑰ 空き枠情報の発信

：当日のメインアリーナ、プールを Twitter で毎日早朝配信。

約 2 時間に一回「個人利用者宛て」の「トレ室、プール利用状況」を配信。

⑱ 各媒体を活用した情報発信

広報誌（地域誌）を定期的に西区中心に配布

Twitter やインスタを使用した「利用方法」「活動報告」等を配信。

各教室のレッスン紹介。館長、副館長による定期的な館内外の情報配信。

西区ハマのウォーキングフェスティバル等、積極的に Twitter 配信しました。

4 施設の効用の最大限発揮について

(2) 広報・利用促進活動

<p>ア 趣旨</p> <p>年代、性別、所得等による情報弱者が出ないよう、在住・在勤・在学しているすべての方へ様々な媒体を活用し広報活動を行います。</p> <p>イ 具体的取組内容（実施事項）</p> <p>①様々な媒体を活用した情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市(区)の広報誌の活用 教室事業募集時やイベント事業時の掲載を担当局へ打診 ・チラシの配布 教室事業等の案内を作成し配布します。 ・リーフレットの作成 多国語対応のリーフレットを作成します。 ・ホームページの作成 多くの情報が発信できるようホームページを開設します。 ・SNS や LINE の活用 各種の事業の様子や、施設の状況等を配信します。 <p>②広報に関する掲載内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所在地や営業時間、休館日等の施設の基本情報の掲載 ・利用料金の掲載 ・居室の予約状況 ・教室事業の案内 ・スポーツ大会のお知らせ ・各種イベントのお知らせ <p>③当団体の営業チームによる営業活動</p> <p>④当団体作成アプリやメールを活用した来場促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・OASIS LINK の活用による来場促進メールの発信 ・WEBGYM の活用による運動への意欲向上を図ります。 <p>⑤体成分測定の定期測定会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2か月に1回、測定会を開催します。 <p>⑥ポイントカードによる来場促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10回来場で1回無料のポイントカードを希望者へ配布 ・施設への帰属意識の向上

4 施設の効用の最大限発揮について

(2) 広報・利用促進活動

<p>ア 趣旨</p> <p>教室申込者（WEB 申込者）の在住場所を確認し、広報誌（ARIFT）を定期的に配布。各種教室はもちろん、様々なイベント等の取組を広報している。</p> <p>イ 具体的取組内容（実施事項）</p> <p>① 様々な媒体を活用した情報発信</p> <p>事業計画通りに実施。特に SNS については、引継ぎ当時は様々なご要望があったが、1年を経過する中で現在の情報配信を更新しつつ、新しいアイデアがあれば導入していきたい</p> <p>② 広報に関する掲載内容</p> <p>事前計画通りに実施。館内受付ブース付近にて「チラシ」配布物の設置。キッズ教室の周知「のぼり」を設置。ホームページを活用した各種情報の配信。Twitter や Instagram を活用し、施設案内や教室紹介動画を使用して広報。</p> <p>③ 当団体の営業チームによる営業活動</p> <p>西区在勤企業への営業活動を実施（商業施設やホテル等）。今後も連携をもって広報活動を広げたい。</p> <p>④ 当団体作成アプリやメールを活用した来場促進</p> <p>当初計画のアプリについては、現時点では未実施。来場促進については twitter フォロワーも増えつつの傾向がみられている。</p> <p>⑤ 体成分測定の定期測定会</p> <p>当初計画の2か月に1回の定期測定会では無く、運動習慣の定着イベントとして「スポレク（10月）」にて無料開催。その後、測定内容から適切な運動プログラムのご案内ができています。（1日2・3件の測定実施）</p> <p>令和5年度からトレーニング室初心者対応の「サポートプラン」を実施。体制分測定を活用し、運動のサポートをしていく予定（6月導入）</p> <p>⑥ ポイントカードによる来場促進</p> <p>トレーニングルーム及びプールにて実施。コアな利用者はもちろんの事、初めて来館される方には、次回以降の利用を促進する為にも、スタッフから直接、発行の促しを実施している。</p> <p>令和4年度回収状況</p> <p>ポイントカード集計(4年度) ※10回/20回終了時に無料利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トレ室大人 502枚回収 トレ室小人 0枚 ・プール大人 677枚回収 プール小人 9枚回収

4 施設の効用の最大限発揮について

(3) スポーツ教室等の計画

ア 趣旨

教室事業は、運動を始めるきっかけとなり、スポーツ実施率を高めるのに有な手段だとかんがえております。西区の人口特性等を理解し、どの世代の方も楽しく安心して参加できる教室運営を行います。また教室事業の運営にあたっては、他の利用者への利用枠を配慮しながら教室計画を作成していきます。

イ 具体的取組内容（実施事項）

① プール教室

教室名	種別	対象	定員	曜日	時間区分	会場	募集人数	参加人数
プール教室								
大塚クロール初級	事前	16歳以上	45	火	C	プール	35	38
大塚アクアビクス（体操）	事前	16歳以上	45	火	C	プール	35	38
大塚ジュニアスイム	事前	小学生・中学生	45	火	E	プール	35	38
大塚ジュニアスクール	事前	小学生・中学生	45	火	E	プール	35	38
大塚キッズスクール	事前	小学生	45	水	F	プール	35	38
大塚キッズスイム	事前	16歳以上	45	水	F	プール	35	38
大塚アクアビクス（体操）	事前	16歳以上	45	水	B	プール	35	38
大塚キッズスイム	事前	小学生	45	木	D	プール	35	38
大塚キッズスイム	事前	小学生	45	木	D	プール	35	38
大塚ジュニアスイム	事前	小学生・中学生	45	木	E	プール	35	38
大塚ジュニアスクール	事前	小学生・中学生	45	木	E	プール	35	38
大塚キッズスクール	事前	小学生	45	木	F	プール	35	38
大塚アクアビクス（体操）	事前	16歳以上	45	木	F	プール	35	38
大塚キッズスイム	事前	小学生	45	金	D	プール	35	38
大塚キッズスクール	事前	小学生	45	金	D	プール	35	38
大塚ジュニアスイム	事前	小学生・中学生	45	金	E	プール	35	38
大塚ジュニアスクール	事前	小学生・中学生	45	金	E	プール	35	38
子どもゴールデンウィーク短期教室	事前	小学生	3	7/27	A-B	プール	キッズ35 ジュニア35	38
子ども夏休み短期教室	事前	小学生	12	7/27	A-B	プール	キッズ35 ジュニア35	38
子ども夏休み短期教室	事前	小学生	3	7/28	A-B	プール	キッズ35 ジュニア35	38
子ども夏休み短期教室	事前	小学生	3	7/28	A-B	プール	キッズ35 ジュニア35	38
子ども夏休み短期教室	事前	小学生	3	7/29	A-B	プール	キッズ35 ジュニア35	38
ワンポイント短期教室	事前	小学生	4	7/29	D-E	プール	キッズ35 ジュニア35	38

※通常営業時の最大募集人数

募集状況に応じて教室内容(教室内容・実施時間・定員・単価)の見直しを実施します。

4 施設の効用の最大限発揮について

(3) スポーツ教室等の計画

ア 趣旨

前指定管理者からの利用者ニーズにお応えし、当初は殆どのクラスを継承。年間を通じ、参加率等を考慮し、弊社他施設で実績のある教室に変更。コロナ禍の影響にて落ち込んでいたプール教室については、過去に参加されていた教室参加者への教室訴求を実施。徐々に教室を再開している事が情報として地域に浸透し、問合せなども増えてきました。

年間を通じ、参加率等を考慮し、弊社他施設で実績のある教室に変更して実施しました。

イ 具体的取組内容（実施事項）

① プール教室

成人、子供（キッズ・ジュニア）クラスを当初計画通りに実施。

各期にて定員になった（アクアビクス燃焼）などは、抽選により参加できない方は優先的に同一クラス（木曜アクアビクス）をお勧めして参加頂くなどよりそった対応をした。

② フロアー教室

アクティブな教室（Lesmills）やオリジナルヨガや初心者低体力者向けの体操（すっきり体操）等を導入致しました。期中、参加者減のクラスについては、内容や名称を変更し、外部の方でも名称から参加意欲が湧くような工夫をした。また、担当講師の変更（法人）が生じた際には、次期担当者が事前にクラスに入り、参加者とコミュニケーションを図り継続意識が途絶えない様に徹底した。

詳細は別紙「様式8 教室別参加者数」で報告

② フロアー教室

教室名	種別	対象	状況	年間回数	曜日	時間区分	会場	募集人数	予約状況
フロアー教室									
カワイ体操教室(キッズ)	事前	年中・年長		45	火	D	メイン	30	
カワイ体操教室(ジュニア)	事前	小学生		45	火	D	メイン	30	
精英ビートルセアーズバスケットボールクリニック①	事前	小学1～3年生		45	水	E	メイン	30	
精英ビートルセアーズバスケットボールクリニック②	事前	小学4～6年生		45	水	E	メイン	30	
新の体操	事前	50歳以上		45	火	A	メイン	40	
太極ZUMBA	当日	16歳以上	○	46	火	B	サブ	30	
からだいきいきメンテナンス	当日	16歳以上	○	46	火	B	サブ	40	
社交ダンス	事前	16歳以上		45	火	D	サブ	30	
フラダンス入門	事前	16歳以上		45	火	D	サブ	30	
大人の気楽なバレエパーレッスン	当日	16歳以上	○	46	火	B	仮教室	30	
キッズ空手	事前	年少～小学1年生		45	火	E	仮教室	30	
ジュニア空手	事前	年長～小学6年生		45	火	E	仮教室	30	
キッズたいいく塾	事前	年少～年長		48	水	D	メイン	40	
エアロビクス初級	当日	16歳以上	○	45	水	A	サブ	30	
かんたんピラティス	事前	16歳以上	○	48	水	B	サブ	40	
水曜ヨガ	事前	16歳以上	○	48	水	B	サブ	40	
水曜らくらく体操	事前	50歳以上		48	水	C	メイン	30	
HIP HOP(ビギナー)	事前	年長～小学2年生		48	水	E	サブ	30	
HIP HOP(アドバンス)	事前	小学3～6年生		48	水	E	サブ	30	
水曜ZUMBA	当日	16歳以上		24	水	F	サブ	30	
オリジナルエアロ	当日	16歳以上		24	水	F	サブ	30	
水曜ピラティス	事前	16歳以上		48	水	F	サブ	40	
水色画	事前	16歳以上	○	24	水	A	仮教室	30	
水色絵画展	事前	16歳以上	○	24	水	A	仮教室	30	
体操教室	事前	16歳以上	○	23	水	B	サブ	24	
アスレチック定額トレーニング	事前	小学生		23	水	E	メイン	30	
運動能力向上のためのアスレチックトレーニング	当日	小学4～成人		24	水	E	メイン	30	
水曜ヨガ②	事前	16歳以上	○	46	水	B	サブ	30	
水曜ZUMBA	当日	16歳以上	○	47	水	B	サブ	30	
キッズチアダンス	事前	年少～年長		46	水	D	サブ	30	
ジュニアチアダンス①	事前	小学1～2年生		46	水	D	サブ	30	
水曜ヨガ①	事前	16歳以上	○	46	水	A	仮教室	30	
絵千紙	事前	16歳以上	○	46	水	B	仮教室	30	
ジュニアチアダンス②	事前	小学3～4年生		46	水	E	仮教室	30	
ジュニアチアダンス③	事前	小学5～中学生		46	水	E	仮教室	30	
絵やこ染紙たいそ	事前	2歳～小学生	○	45	金	B	サブ	30	
氣功土居塾	事前	16歳以上	○	48	金	B	メイン	40	
水曜らくらく体操	事前	50歳以上		48	金	C	メイン	40	
リンパボディメンテナンス	当日	16歳以上	○	49	金	B	メイン	40	
ベリーダンス	事前	16歳以上	○	48	金	B	仮教室	30	
土曜習字手紙改善	事前	40歳以上		48	土	A	メイン	30	
VALUE WORKS ミニバス①	事前	年長～小学3年生		48	土	E	メイン	30	
VALUE WORKS ミニバス②	事前	小学4～6年生		48	土	E	メイン	30	
ボディウエイト&ピラティス	当日	16歳以上		49	土	B	サブ	40	
土曜ヨガ	事前	16歳以上		48	土	B	サブ	40	
イブニングヨガ初級	当日	16歳以上		49	土	E	仮教室	30	
イブニングヨガ中級	当日	16歳以上		49	土	E	仮教室	30	
サーキットエアロ	当日	16歳以上		24	日	B	サブ	30	
日曜ヨガ	当日	16歳以上		20	日	B	サブ	40	
マニング教室	当日	16歳以上		24	日	未定	未定	30	

※通常営業時の最大募集人数

募集状況に応じて教室内容(教室内容・実施時間・定員・単価)の見直しを実施します。

4 施設の効用の最大限発揮について

(4) 自主事業の計画

<p>ア 趣旨</p> <p>利用者の利便性向上とスポーツに触れる機会を増やし、区民の皆さんが施設に親しみを持ってもらえるような自主事業を行います。</p> <p>イ 具体的取組内容（実施事項）</p> <p>① 飲食事業・館内の自動販売機設置</p> <p>1階:1台、2階:4台、3階:4台、4階:1台の設置</p> <p>② 物販事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ用品の販売・水着・スイム小物の販売エリアの常設 ・サプリメント類の販売 <p>③ 教室事業・イベント事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナが収束に向かったタイミングで営業時間の延長 平日:午前7時30分～午後11時、日祝:午前7時30分～午後9時 ・延長時間を使った教室事業による来場促進 早朝枠・深夜枠を活用した教室事業の展開 ・ウォーキング等、重要課題に則したイベント <p>施設外でのランニング・ウォーキング教室の実施_月2回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツレクリエーションフェスティバルの実施 ・講師派遣事業 近隣学校への指導員派遣:プール監視、プール指導、体育授業 ・トップアスリートによるクリニック講座 ・トップアスリート観戦ツアー <p>※コロナ感染状況が落ち着くまで実施無し(R4年度予定なし)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツボランティア参加事業 ・季節イベント 季節を感じる誰でも参加できるイベントの実施 ※子ども向け「季節のぬりえ」等 <p>④ 基本時間外での営業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナの状況を考慮しながら営業時間の延長 <p>平日:午前7時30分～午後11時、日祝:午前7時30分～午後9時</p> <ul style="list-style-type: none"> ・延長時間での貸室事業の実施 <p>早朝枠-午前7時30分～午前9時、深夜枠-午後9時～午後11時の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・延長時間での教室事業の実施 <p>早朝枠、深夜枠での教室事業を展開し来場促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・延長時間での駐車場利用促進

4 施設の効用の最大限発揮について

(4) 自主事業の計画

<p>ア 趣旨</p> <p>利便性向上とスポーツを通じ健康管理を意識できるような講習会形式のイベントを実施しました。</p> <p>イ 具体的取組内容（実施事項）</p> <p>① 飲食事業</p> <p>計画通り館内10台の設置（ドリンク・アイス・菓子）し、熱中症予防や運動後の楽しみの機会（アイス・菓子）を提供した。</p> <p>② 物販事業</p> <p>2階フロント前及び3階フロントにて「スポーツ用品（水着・タオル・ゴーグル類）」を販売し、急なご利用希望で準備が出来なかった方へ提供する事ができた。</p> <p>③ 教室事業</p> <p>イベント事業の実施</p> <p>各種イベント（季節・夏休み等）実施</p> <p>季節イベント:こどもの日、七夕、夏祭り、ハロウィン、クリスマスなど季節に合わせたスポーツ（運動会前の走り方教室等）やカルチャー（願い事短冊の作成、クリスマス装飾等）を実施</p> <p>セミナー:管理栄養士による栄養講習会、競技経験のあるスタッフによるトレーニング講習会、震災体験者による防災講習会等</p> <p>④ 基本時間外での営業</p> <p>コロナ禍の中、社会情勢を見極め基本営業時間外の自主営業時間へ変更した。まずは、深夜帯（21:00～23:00）の営業時間を再開した。</p> <p>令和4年10月3日より「貸室、トレーニングルーム、駐車場」再開</p> <p>令和4年11月3日より「プール」再開</p> <p>※社会情勢を見極め、令和5年4月1日より「7:30～9:00」の営業再開を令和4年度中に決定</p>

4 施設の効用の最大限発揮について

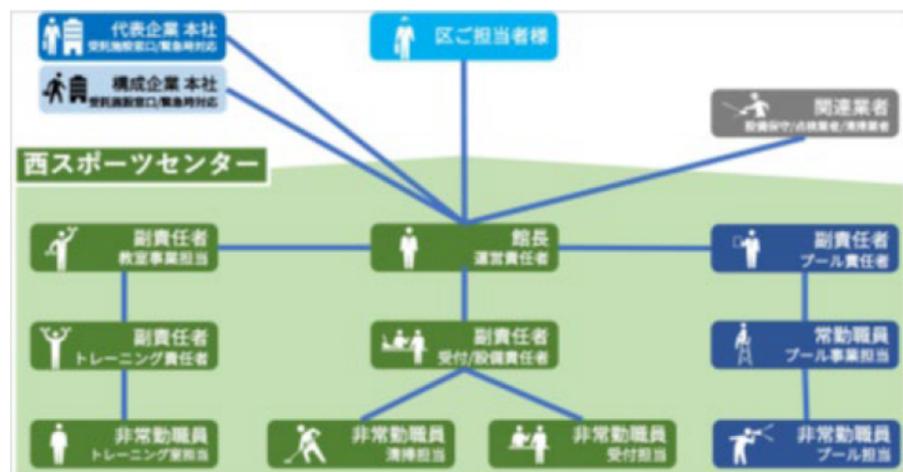
(5) 業務履行体制

ア 趣旨

当団体は、代表団体・構成団体が培ってきた健康事業に関する実績および専門性を十分に発揮して、区民の皆様が安心・安全を感じ、かつ効率的な管理運営体制を構築します。また、設備維持管理業務は、安全・確実に行うため、豊富な実績と高い能力を有する専門業者へ業務を委託します。

イ 具体的取組内容（実施事項）

① 西スポーツセンターの管理運営体制



② 職員配置体制

部門	常時配置数	常勤職員配属数
事務所	1名	1名
トレーニング室	2名	2名
プール監視	3名	3名
受付(総合受付・プール受付)	3名	1名
清掃 ※外部委託	昼間1名	0名

③ 研修予定表

研修	対象	実施	研修	対象	実施
指定管理者研修	全職員	採用時	救急救助研修	全職員	年2回
安全管理研修	全職員	6月	消防訓練	全職員	年2回
接遇研修	全職員	6月	受付研修	受付	年2回
リスク管理研修	全職員	6月	清掃研修	受付/トレ室	年2回
個人情報保護研修	全職員	11月	指導員研修	トレ室	年2回
人権・コンプライアンス研修	全職員	年2回	設備管理研修	常勤	年2回

4 施設の効用の最大限発揮について

(5) 業務履行体制

ア 趣旨

共同事業体として、他施設運営のノウハウを活かしながら、区民の皆さんが「安心・安全」に施設をご利用頂けるように運営いたしました。

施設内で発生した事件事故についても、都度、西区役所への経過報告を実施し、ご助言を賜りながらも解決に向け努力してまいりました。今後も「地域に根付いた運営のノウハウ」と「フィットネスに関する知識・経験」、そして長年の公共施設の受託運営で培ってきた構成団体の「官民連携事業における安心感・安定感」をもって、西スポーツセンターを運営してまいります。

イ 具体的取組内容（実施事項）

① 西スポーツセンターの管理運営体制 及び ②職員配置体制

事前計画通りの人員配置にて運営ができました。期中(2月)施設老朽化の中、経年劣化による「3階エリア内(No15)火災報知器」が発動。管理運営体制により各関連部署との連携をもって、これを対処した。その他事案についても同様に対応ができていた。

③ 研修実績（実技及びeラーニング使用での研修）

事業計画に基づき、下記の研修を実施致しました。

研修	対象	実施	研修	対象	実施
指定管理者研修	全職員	採用時	救急救助研修	全職員	9/20 3月eラーニング
安全管理研修	全職員	8/22	消防訓練	全職員	9/20 2/20
接遇研修	全職員	採用時	受付研修	受付	Eラーニング
リスク管理研修	全職員	6月eラーニング	清掃研修	受付/トレ室	毎月休館日(計12回)
個人情報保護研修	全職員	11月	指導員研修	トレ室	適時
人権・コンプライアンス研修	全職員	7月・2月eラーニング	設備管理研修	常勤	毎月休館日(計12回)

5 本市の重要施策を踏まえた取組について

- (1) 個人情報保護・情報公開、人権尊重、環境への配慮、市内中小企業優先発注など、本市の重要施策を踏まえた取組

<p>ア 趣旨</p> <p>国や横浜市の定める規則を理解し、これに準拠した施設の管理運営を行い、法令・規則等の改正や新しい法令・規則にも対応できる体制を整え、利用者をはじめ区民の皆様から信頼される管理運営を行います。</p> <p>イ 具体的取組内容（実施事項）</p> <p>① コンプライアンス体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当団体内でのコンプライアンス体制の構築 <p>当団体内でコンプライアンス委員会の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンス規定の整備 <p>行動規範や就業規則等の各種規定の整備</p> <p>② 個人情報の適正な取り扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の利用目的と収集 <p>アンケート等は、利用目的を明示し必要最低限の情報のみを収集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の厳正な管理 <p>記録媒体への保存禁止、紙媒体の書庫保管(施錠)、データ送信時のパスワード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報漏洩のリスク管理 <p>従業員への個人情報取扱に関する誓約書、不必要な情報の非保管</p> <p>③ 情報公開への適切な対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の権利の尊重 ・管理運営の透明性の確保 ・情報開示請求の対応 <p>④ 人権の尊重</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハラスメント防止研修とテストの実施 <p>e ラーニングや集合研修を活用した研修やテストによる習熟度測定の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヘルプデスクの開設 <p>代表企業総務部および代表企業親会社への内部通報窓口の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画推進 <p>くるみん・えるぼしの認定資格に準じた制度の活用</p> <p>⑤ 環境への配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横浜 3R 夢プランの推進 <p>ごみを削減する仕組みの構築、ごみの分別の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SDGs の推進 <p>⑥ 市内中小企業の優先発注</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設備維持管理業務や教室事業講師派遣等での市内団体への発注

5 本市の重要施策を踏まえた取組について

- (1) 個人情報保護・情報公開、人権尊重、環境への配慮、市内中小企業優先発注など、本市の重要施策を踏まえた取組

<p>ア 趣旨</p> <p>事業計画通りに実施。法令遵守を基にご利用者全体に信頼される施設運営を実施した。</p> <p>イ 具体的取組内容（実施事項）</p> <p>① コンプライアンス体制の構築</p> <p>弊社総務法務連携によるコンプライアンス委員会との情報共有 東急不動産 HG 全体のコンプライアンスヘルプデスクの設置</p> <p>※全ての従業員がヘルプデスクに情報提供を行える環境完備</p> <p>② 個人情報の適正な取り扱い</p> <p>令和 4 年度には保有する個人データの開示等の請求は無し</p> <p>個人情報の含まれる書類の鍵付きキャビネットでの保管。重要書類の保管義務無しの書類のシュレッダー破棄の徹底。全ての印刷物について「裏紙利用」の廃止</p> <p>③ 情報公開への適切な対応</p> <p>令和 4 年度については開示等の請求は無し</p> <p>④ 人権の尊重</p> <p>職員研修の実施と共通理解の徹底を実施 ハラスメント防止研修や実際に社会で発生したハラスメント行為の冊子を回覧し、防止に努めた</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヘルプデスクの開設済み ・男女共同参画推進 <p>えるぼしの認定に準じ副館長職、副館長補佐職を女性としており、くるみんの認定に準じ、子育て世代のスタッフには勤務時間の短縮などを実施している</p> <p>継続雇用契約者及び新規雇用契約者について、男女比率を鑑み、採用をする様にしている</p> <p>⑤ 環境への配慮</p> <p>SDGs の推進として館内消費電力の調整にて CO2 排出低減の意識持もち込みゴミの防止徹底。横浜 3R 夢プランの推進として、市役所ごみ回収ルートにて、目標値を立てたゴミ削減を実施</p> <p>⑥ 市内中小企業の優先発注</p> <ul style="list-style-type: none"> ・突発修繕等、横浜市内の営業所を持つ取引先を選定 <p>水栓関連：株式会社アメニティ プールロボット：株式会社ウィーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師（法人）については、概ね市内団体を選考。 <p>個人講師については、一定の評価基準を設ける為、原則弊社内のオーディション合格者を選定している。</p>

6 管理運営経費について

(1) 利用料金等収入増及び経費縮減への取組

ア 趣旨

新指定管理者として新しいサービスの提供による利用者数の回復と、新型コロナウイルスの影響がまだ残る中で利用者数減による影響を、当団体の運営ノウハウや職員一人一人のコスト意識を高めて費用削減に取り組みます。

イ 具体的取組内容（実施事項）

① 利用料収入増に向けた取組

- ・新型コロナウイルスの感染拡大が落ち着いた時期での開館時間の延長
- ・当団体のアプリを活用した運動啓発活動の推進
- ・教室事業の新規プログラムによる新規ターゲットの取り込み
- ・トレーニング室における新規マシンの設置による新規ターゲットの取り込み
- ・新型コロナウイルスの感染拡大が落ち着いた段階で、安全対策に配慮しながら利用定員等の制限の緩和

- ・利用料のキャッシュレス対応（交通系 IC カード、クレジットカード対応）

② 教室事業収入増に向けた取組【追加】

- ・教室事業の定員枠の制限を緩和した教室参加者数の回復
- ・教室事業の単価の見直しによる教室事業
- ・利用者登録体制の強化、指導内容の強化を実施
- ・新型コロナウイルスの感染拡大が落ち着いた段階で、安全対策に配慮しながら参加定員等の制限の緩和

③ 経費削減に向けた取組

- ・予防保全に基づいた修繕費の執行(大修繕につなげない)
- ・当団体の取引先を駆使し、通常より安価でのトレーニング機器の調達
- ・備品/消耗品の前指定管理者からの継承(買取)による新規調達費の削減
- ・当団体職員による教室事業の実施によるコストコントロール

■令和4年度 目標利用人数及び目標収入の内訳

※次ページに掲示

6 管理運営経費について

(1) 利用料金等収入増及び経費縮減への取組

ア 趣旨

前指定管理者からのサービス提供の質を落とさず、徐々に弊社の強みであるフィットネス事業を西スポーツセンターでも提供できるように努力した。

イ 具体的取組内容（実施事項）

① 利用料収入増に向けた取組

新型コロナウイルスの感染拡大が落ち着いた時期（10月）より閉館時間の延長を実施。twitter内にて、食事や運動方法の配信を定期的実施。運動啓発活動の推進を行った。低体力者の参加しやすい教室（パワトレ）や中上級者向けの教室（Lesmills）など、教室事業の新規ターゲットの取り込みを実施。

トレーニング室における新規マシンの設置により、初心者からヘビーユーザーまでの利用者の効率的な運動時間の提供ができた。安全対策に配慮しながら、各施設の利用定員等の制限を緩和し、お待ち頂く時間をできるだけ減少させるよう努力した。利用料の支払いや自動販売機ドリンク類の購入の際には「交通系 IC」を利用。フロントでのお支払い（スポーツ用品や定期教室支払い）の際には各種クレジットカードを利用できるようにしている

【令和4年3月現在】

プール利用定員：最大90名に変更 ※施設上のキャパシティー

トレーニング室定員：最大40名に変更 ※ストレッチエリアの拡大等で増やした

② 教室事業収入増に向けた取組【追加】

令和4年度4月からの第一期教室については、前指定管理者からのクラスを踏襲し、今までの参加者が困らない様に調整していた。期中、他のスポーツ施設との教室参加費の調査を実施し、単価を調整。リピートしやすい金額設定にした。教室申込者のWEB申込を推奨し、システム（Hello、バスキャッチ）上で一元管理できるようにしている。期中、ガイドラインの見直し等、スポーツ庁並びに横浜市からの情報共有を基に参加定員数等の緩和を実施した。

メインアリーナ：最大120名 サブ：50名 研修室：20名※スポーツ利用時のみ

③ 経費削減に向けた取組

計画的、優先事項を決めて修繕を執行した。経年劣化による各種不具合箇所が見られている為、引き続き注視しながら大型修繕に繋がらぬようにしている。

■令和4年度 目標利用人数及び目標収入の実績値表

※次ページに掲示

■令和4年度 目標利用人数及び目標収入の内訳

項目	令和4年度目標数	
	利用人数(人)	収入(千円)
個人利用	94,156	32,727
トレーニング室	31,289	11,593
プール	62,675	21,114
その他	192	20
団体利用	30,211	15,055
駐車場	21,679	6,504
スポーツ教室	62,917	58,729
文化系教室	656	566
託児事業	60	30
その他(物販・飲食事業等)		7,308
その他(派遣事業・イベント事業等)		330
合計	188,000	121,249

■令和4年度 目標利用人数及び目標収入の実績値表

項目	令和4年度実績数	
	利用人数(人)	収入(千円)
個人利用	107,307	30,717
トレーニング室	42,948	13,115
プール	64,314	17,596
その他	45	6
団体利用(付帯設備収入含む)	34,133	7,280
駐車場	—	5,922
スポーツ教室	36,892	36,225
文化系教室	651	533
託児事業	0	0
その他(物販・飲食事業等)	—	3,477
その他(派遣事業・イベント事業等)	—	634
合計	178,983	84,788

6 管理運営経費について

(2) 施設の課題等に応じた費用配分

ア 趣旨

資産の取得原価を所定の方法に従い、その資産を使用する期間にわたって計画的かつ規則的に費用として、適切な費用配分を行い、毎期の損益計算等を正確なものにしていきます。

イ 具体的取組内容（実施事項）

トレーニング機器をリース調達し、一時的な出費を抑えた安定的な運営の実施

西スポーツセンター_トレーニング室新規調達

No	機種	数量	No	機種	数量
1	トレッドミル	6	12	ロータリートルソー	1
2	エリプティカル	2	13	ファンクショナルトレーナー	1
3	アップライトバイク	2	14	アジャスタブルベンチ	1
4	リカンベントバイク	2	15	バックエクステンションベンチ	1
5	マルチプレス	1	16	スミスマシン	1
6	チェストプレス	1	17	パワーキック	1
7	キックプルダウン/シーテッドロー	2	18	オリンピックベンチ	1
8	レッグエクステンション/カール	2	19	オーバーグリップディスク(2.5kg~20kg)	—
9	レッグプレス/カーフプレス	1	20	アジャスタブルベンチインクキインベ	4
10	アブ/ローバック	1	21	プリチャーカール	1
11	ヒップアブダクター/アダクター	1	22	スポーツマット	60

6 管理運営経費について

(2) 施設の課題等に応じた費用配分

ア 趣旨

経過的かつ規則的に費用配分を行い、損益計画等を四半期ごとの報告を実施。最終的に年度末決算にて、計上先の配分を実施しました。

イ 具体的取組内容（実施事項）

指定管理切替時（4月）にトレーニング機器を変更

施設管理（保守管理）については、各専門業者を選定。前指定管理者の構成団体より選定する事によって、当該施設の運用状況を理解した会社で実施している。

特に修繕費については、年間予算計画通り実施できた。

6 管理運営経費について

(3) 適正な委託・調達・雇用

ア 趣旨

当施設は、たくさんの区民への住民サービスが提供される場所です。利用者の安全を最優先し、必要な法定点検・定期点検は、専門性の高い委託先を選定します。なお、安全性や委託金額が同等な場合は、横浜市内に営業所の持つ事業者へ委託します

イ 具体的取組内容（実施事項）

①委託業務

委託業務名	委託先会社名	所在地
電気設備点検	関東電気保安協会	横浜市南区高砂町 1-17
空調設備点検	東西化学	川崎市川崎区台町 7-11
給排水点検	三恵エンジニアリング	相模原市南区相模台 3-16-6
自動ドア点検	神奈川ナフコ	横浜市西区花咲町 7-150
害虫駆除	シー・アイ・シー	東京都台東区北上野 1-10-14
植栽管理	綿半ソリューションズ	東京都新宿区四谷 1-4
簡易専用水道水質検査	三恵エンジニアリング	相模原市南区相模台 3-16-6
飲料水水質検査	三恵エンジニアリング	相模原市南区相模台 3-16-6
駐車場機器点検	新明和パークテック	東京都港区芝浦 4-3-4
レジオネラ属菌水質検査	三恵エンジニアリング	相模原市南区相模台 3-16-6
現金集配金	アサヒセキュリティ	東京都港区海岸 2-4-2
バスケットゴール点検	セノー	千葉県松戸市松飛台 250
トレーニング機器点検	ジヨンソヘルステック	東京都港区海岸 3-9-15
清掃業務	エーエフマネジメント	横浜市港北区新横浜 2-3-12
昇降機	中央エレベーター工業	東京都台東区上野 3-4-9
機械警備	KSP	横浜市中区不老町 2-10-3

②適正な調達

・緊急な対応を要する場合を除き、複数社からの見積を取得し、価格・性能・納期等で優れた企業からの調達をします。

6 管理運営経費について

(3) 適正な委託・調達・雇用

ア 趣旨

委託業務（施設保守管理、清掃業務）は専門性の高い業者へ委託
 コロナ対策でクローズしていた2階男女シャワールームも夏場の需要を考慮し、7月から再開。6月休館日に「特別清掃（年間予定無し）」を実施する事で、2年半使用していなかった配管や衛生機器の点検も実施した。

イ 具体的取組内容（実施事項）

① 委託業務

委託業務名	委託先会社名	所在地
電気設備点検	関東電気保安協会	横浜市南区高砂町 1-17
空調設備点検	東西化学	川崎市川崎区台町 7-11
給排水点検	三恵エンジニアリング	相模原市南区相模台 3-16-6
自動ドア点検	神奈川ナフコ	横浜市西区花咲町 7-150
害虫駆除	シー・アイ・シー	東京都台東区北上野 1-10-14
植栽管理	綿半ソリューションズ	東京都新宿区四谷 1-4
簡易専用水道水質検査	三恵エンジニアリング	相模原市南区相模台 3-16-6
飲料水水質検査	三恵エンジニアリング	相模原市南区相模台 3-16-6
駐車場機器点検	新明和パークテック	東京都港区芝浦 4-3-4
レジオネラ属菌水質検査	三恵エンジニアリング	相模原市南区相模台 3-16-6
現金集配金	アサヒセキュリティ	東京都港区海岸 2-4-2
バスケットゴール点検	セノー	千葉県松戸市松飛台 250
トレーニング機器点検	ジヨンソヘルステック	東京都港区海岸 3-9-15
清掃業務	エーエフマネジメント	横浜市港北区新横浜 2-3-12
昇降機	中央エレベーター工業	東京都台東区上野 3-4-9
機械警備	KSP	横浜市中区不老町 2-10-3
施設巡回点検	新生ビルテクノ	横浜市西区みなとみらい 2-3-3

② 適正な調達

施設巡回点検や各種機器保守点検時の報告を基に、本社施設管理部門と連携し対応。価格差が無い場合は横浜市内に事業所がある取引先を優先とした。

7 施設管理について

(1) メンテナンス及び環境保持・環境配慮

<p>ア 趣旨</p> <p>下記に掲げるポイントを押さえ、施設を適切に維持保全してまいります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係法令等を遵守すること ・施設を安全かつ衛生的に保つこと ・施設の機能および性能等を保つこと ・合理的かつ効果的な維持保全の実施につとめること ・建物や設備機器について点検し、劣化・損傷等の早期発見に努めること ・環境負荷を抑制し、環境汚染等の発生防止及び省エネルギーに努めること <p>イ 具体的取組内容（実施事項）</p> <p>① 日常点検</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Walk Through 実施時に「日常点検チェックシート」を活用し点検を行います。 <p>② 定期点検</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法令等で定められている点検、またその他重要な点検項目においては専門業者の点検を行います。 <p>(※次ページに表あり)</p> <p>③ 清掃について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種清掃業務にて館内美化を保ちます。 <p>(※次ページに表あり)</p> <p>④ 環境保持・環境配慮について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・照明のLED化による省エネ化の実践 ・「運動場における照度基準」を参考にした照明の間引き稼働 ・室内平準温度を設定し、低負荷な空調機の運転の実施 ・タイマー設定による無駄やミスのない空調機の稼働 ・春や秋に外気取入量を調整した空調機の低負荷稼働の実践 ・プール水入替の夏季実施による昇温エネルギーの抑制 ・グリーンカーテンやカーテン活用による外気の影響を少なくした温度管理

7 施設管理について

(1) メンテナンス及び環境保持・環境配慮

<p>ア 趣旨</p> <p>施設を適切に維持保存する為、事業計画書どおり実施致しました。</p> <p>イ 具体的取組内容（実施事項）</p> <p>① 日常点検については「営業前」「営業中」「営業終了前」に定期的実施する事で館内の異変などの早期発見、早期解決を徹底していた。特に「メインアリーナ雨漏り」については、天気予報によって対策用キット（吸水マット、バケツ、タオル等）を用意し、好天になった翌日も雨漏りの落水が停止するまで対策を実施している。</p> <p>② 定期点検については、毎月の休館日での実施を中心に実施したが、巡回点検等については、営業している状況を基本に点検を実施。利用状況に合わせた点検が実施できていた。</p> <p>③ 清掃については、取引先の清掃はもちろん、スタッフ及び社員の巡回点検時（Walk Through）に除菌と共にゴミを拾い館内美化に努めた。</p> <p>④ 環境保持や環境配慮については、事前計画通りに管理自動システムを理解したうえで、ご利用者へのご迷惑が掛からない範囲、営業に支障がでない範囲にて調整ができていたと評価している</p> <p>環境保持・環境配慮について以下の通りに実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・照明のLED化による省エネ化の実践：横浜市指針により検討中 ・「運動場における照度基準」を参考にした照明の間引き稼働 運動場における照明については、前指定管理からの踏襲にて実施 ・室内平準温度を設定し、低負荷な空調機の運転の実施 ボイラー及び冷温水発生機のタイマー調整や手動切替を実施 ・タイマー設定による無駄やミスのない空調機の稼働 タイマー設定の見直しを実施 ・春や秋に外気取入量を調整した空調機の低負荷稼働の実践 上記の通り実施 ・プール水入替の夏季実施による昇温エネルギーの抑制 10月プール休場中に実施し、冬季以外での昇温エネルギーの抑制を実施 ・グリーンカーテンやカーテン活用による外気の影響を少なくした温度管理 西日対策など、室場内のカーテンを活用し室温の上昇を抑制

② 定期点検（表）

- ・法令等で定められている点検、またその他重要な点検項目においては専門業者の点検を行います。

定期点検項目	頻度/回数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
設備巡視点検	24回/年	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
自家用電気工作物	6回/年	●		●		●		●		●		●	
貯水機清掃	1回/年		●										
給湯設備清掃	1回/年		●										
消防設備点検	2回/年		●						●				
自動ドア保守点検	4回/年		●			●						●	
吸収式冷凍機保守点検	2回/年		●						●				
クーリングタワー清掃	6回/年		●		●		●		●		●		●
プールの塩素設備点検	2回/年		●						●				
温水ヒーター保守点検	1回/年		●										
フィルター清掃	2回/年		●						●				
フロン排出規制缶簡易点検	4回/年		●			●			●			●	
建物劣化診断	1回/年		●										
保管庫ファンフィルター清掃	1回/年		●										
エレベータ保守点検	12回/年	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
害虫駆除	2回/年	○	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
飲料水水质検査	1回/年	●											
プール水质検査	1回/年	●											
プール水质検査	12回/年	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
レジオネ＝循環水水质検査(冷却温水)	2回/年	●						●					
レジオネ＝循環水水质検査(給湯水)	1回/年	●											
冷却塔部品洗浄	2回/年	●						●					
空気環境測定	6回/年	●		●		●		●		●		●	
排水管洗浄	1回/年	●											
簡易専用水道検査	1回/年	●											
植栽管理	3回/年				●		●				●		
清掃業務(定期清掃)	4回/年	●		○	●			●			●		●
トレーニング機器	毎日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

② 清掃について（表）

- ・各種清掃業務にて館内美化を保ちます。

作業名称	作業内容	作業回数
日常清掃	日々の運営の中で汚れる箇所の清掃（トイレ等の水回り等） 利用者の出入りの多い朝から夕方までは、専用職員を委託します。 夜間は、職員が清掃を行います。	専門スタッフ配置時間 8時間/日
定期清掃	日常清掃では落としきれない箇所の清掃、床面ワックス等利用者が いる時間帯の作業が困難な清掃を実施します。	床面洗浄・ワックス 4回/年 ガラス清掃 4回/年 剥離清掃 1回/年
特別(臨時)清掃	大会等の多くの利用者が見込まれる時や、日常/定期清掃でも落と しきれない箇所の清掃を実施します。	大規模大会時/プール水抜き時
巡回清掃	専門清掃員だけに頼らず、当職員も施設の巡回を行い、汚れた場所 の清掃を行います。	巡回清掃頻度 1回/2時間ごと
害虫駆除	専門業者に委託して害虫駆除を行います。また恒常的に生息調査も 行い、害虫の発生を防ぎます。	全館調査防除作業 2回/年 生息調査作業 10回/年
外構植栽	専門業者に委託して植栽管理を行います。また当職員も巡回清掃の ルートに植栽部も入れ、ごみ拾いを行います。	専門業者による植栽作業 3回/年
消毒作業	利用者の手が多く触れる場所の消毒作業をします。 また館内の複数カ所に消毒液を設置し、感染防止に努めます。	随時

定期点検及び清掃について事業計画どおりに実施した。

7 施設管理について
(2) 修繕等への取組

ア 趣旨

経年劣化等で建物・設備に不具合が発生している箇所が、いくつかあります。下記の項目に基づきリスク度合いを判断し、区と協議の上、優先順位をつけて修繕を実施します。

- ・安全性
- ・機能停止時の損害
- ・損害拡大の恐れ
- ・代替性の有無
- ・利用者満足への影響

イ 具体的取組内容（実施事項）

令和4年の修繕候補は以下になります。専門業者による現地調査および見積取得をしたのち、優先順位や突発修繕等でのコストバランスを考慮して、適切な予算の執行をします。

大項目	故障箇所	内容	備考
電気設備	非常用照明	内臓電池の交換	必要時提案書記載
機械設備	冷却塔	充填剤洗浄	必要時提案書記載
機械設備	防火ダンパー	固着部の修理又は交換	必要時提案書記載
建築	メインアリーナ	西側屋根より雨漏り	必要時提案書記載
建築	メインアリーナ	屋根笠木のジョイント部シーリング破断	必要時提案書記載
建築	吹抜け最上部	金属笠木の下地モルタルの浮き	必要時提案書記載
建築	外壁	南側アプローチ階段のタイル剥離	必要時提案書記載
建築	エントランス	ホール点字銘のはずれ	必要時提案書記載
機械設備	冷温水発生器	コントロールボックス基盤故障	既成システムで保証期間内
機械設備	受水槽	水位センサーおよび制御盤故障	既成システムで保証期間内
機械設備	機械式駐車場	各種部品交換	既成システムで保証期間内
機械設備	温水ヒーター	制御機器調整器および三方弁故障	既成システムで保証期間内
機械設備	高圧受変電設備	換気扇およびアクリル板更新	既成システムで保証期間内
機械設備	1F_EV前自動ドア	各種部品交換	既成システムで保証期間内

7 施設管理について
(2) 修繕等への取組

ア 趣旨

緊急性の高いものや、将来不具合発生にて施設運営が停止するような不具合を早期に発見し、優先順位をもって修繕を行ってきた。

イ 具体的取組内容（実施事項）

月	修繕箇所	修繕内容	金額(円)	月次計(円)	取組業者名
4	1階-北(トイレ)	圧力が上がり漏水が頻発し、トイレの洗浄の交換を実施	¥66,000		三進エンジニアリング
4	ラフアリーナ内配線	毎年劣化: 不通の為 交換	¥44,000		ティードーエス株式会社
4				¥110,000	
5	船内放送設備調査調整	船内放送(有線含む)の設定ができておらず、ICMの配線をしていなかったため	¥88,000		SSR株式会社
5	2階ホール台塗装修繕	2階ホール台 塗装が剥がれ劣化があり、再塗装にて塗装を実施	¥79,200		オフィスT-S
5	管球	LED 3球長寿命LED 交換	¥4,851		
5				¥172,051	
6	マシンルーム-天井	トレーニング室内 ベンチ(市販品)のレゾー劣化の為、交換	¥35,750		株式会社ワイズフィットネス
6	管球	三波長高圧電球交換	¥1,065		
6				¥36,815	
7	船内トイレ	トイレ便所及びトイレ	¥72,600		株式会社アムニティ
7	準2階西-多目的トイレ	洗面設備不良により調査と修繕実施	¥36,300		ティードーエス株式会社
7	管球	LED 交換	¥11,990		
7				¥120,890	
8	メインアリーナ空調	室外機設置による停止(3台)	¥43,500		日立グローバル
8	トレーニング室	照明設備点検による劣化の為、交換	¥57,200		防衛パートナー
8	電気室内空調	調査及び点検	¥22,000		新生ドルテクノ
8				¥122,700	
9	機械室内風量機	毎年劣化: 部品交換	¥13,420		ハイアールワゴン
9	機械室内自家用電機	自家用電機 絶縁交換	¥93,500		防衛パートナー
9	管球	電球交換 LED 高圧電球交換 LED 交換	¥7,764		
9				¥114,684	
10	3階女性ロッカー	シャワーエリア配水機 修繕	¥50,600		株式会社アムニティ
10	トレーニング室	ストレッチエリアガラスフィルム設置	¥108,900		オフィスT-S
10	電気室内電気ファン設備	異常音発生原因の調査	¥16,500		新生ドルテクノ
10	3階ホール受付	専念機及び受電機のメンテナンス	¥55,000		株式会社エルコム
10	3階女性更衣室	プール更衣(ロッカー)シャワー、配水機修理	¥66,972		ハヤブサ設備
10	管球	三波長電球交換 一般照明LED 交換	¥3,421		
10				¥301,393	
11	3階ホール受付	プール専念機 部品交換	¥105,600		株式会社エルコム
11	管球	LED 交換 高圧電球 交換	¥3,564		
11	本館設備	シャワーブース設備 修繕	¥10,945		
11				¥120,109	
12	機械室内	ボイラー スポット 修繕(エラー 解除)	¥99,000		三進エンジニアリング
12	男女更衣室内ロッカー	リストバンド部品点検、LED 調光修理	¥67,430		日本自動車
12	3階ホール受付	プール専念機 ファン、専念機修理	¥66,000		株式会社エルコム
12	船内船外 電灯系統	船内電灯不良箇所等の調査	¥79,200		がまもん
12				¥311,630	
1	男女更衣室内ロッカー	ロッカー 部品、LED 調光修理	¥37,730		日本自動車
1	3階ホール受付	プール専念機 リフトユニット 専念機修理	¥88,000		株式会社エルコム
1	船内自動ドア	1階出入口2箇所 2階出入口1箇所	¥1,493,800		神島テクノ
1	トレーニング室	照明設備点検による劣化の修繕	¥121,000		防衛パートナー
1	管球	LED 交換 LED 交換 LED 交換	¥5,688		
1				¥1,746,218	
2	2階多目的トイレ	2階多目的トイレ内 器具、水栓修理	¥108,900		株式会社アムニティ
2	3階ホールエリア	ホールエリア内の火災検知器点検機器の交換を実施	¥341,000		防衛パートナー
2	3階ホール	消防ポンプ 毎年劣化による修繕	¥235,400		W-TK
2	1階機械室内 中央監視室	自動火災検知器検知器調査	¥99,000		防衛パートナー
2	1階機械室	照明機交換	¥57,200		防衛パートナー
2	1階機械室内 自家用電機	自家用電機絶縁材料補充	¥27,500		防衛パートナー
2	2階車庫修繕	給水電線修繕メンテナンス	¥33,000		株式会社アムニティ
2	1階機械室内 換気機	給水電線系統 風量機点検・保守調査	¥19,800		新生ドルテクノ
2	3階ホール受付	プール専念機 リフトユニット 専念機修理	¥44,000		株式会社エルコム
2	管球	LED電球交換 LED 交換 LED 交換	¥5,921		
2				¥971,721	
3	1階中央監視室	1階中央監視室内、空調修理	¥825,000		新生ドルテクノ
3	3階ホール通路	消防火災交換、修理工事	¥770,000		防衛パートナー
3	本館設備	SAME3 水栓修繕部品 交換メンテナンス	¥2,001		
3				¥1,597,001	
	上半期			¥677,200	
	下半期			¥5,848,077	
	年度計			¥6,525,277	

8 安全管理について

(1) 平常時の体制

ア 趣旨

危機管理とリスク管理を充実することにより、「安全・安心を実感できる施設」を実現します。「防災防犯対策」「施設設備の安全対策」「運営管理の安全対策」の3つの側面から、優先的に取り組むべき施策を抽出し、それらを重点的に推進します。

イ 具体的取組内容（実施事項）

①安全・安心を実感できる施設への取組

- ・安全・安心の体系の確立

②危機管理体制・横浜市との連携

- ・有事(災害)発生時の参加者(職員)避難状況および設備影響の迅速な情報共有

③プール水面監視の強化

- ・各種条例やマニュアルに基づいた監視体制
- ・監視員認定制度を取り入れた質の高い監視員の配置

④あらゆるリスクの洗い出し

- ・ヒヤリハット事例集
- ・利用者や専門企業等、第三者からの意見収集

⑤リスク対応策の考察

- ・リスク管理責任者の任命
- ・リスクの優先順位付け

⑥全てのリスクに対応できる危機管理能力の習得

- ・業務に適した有資格者の任命
- ・日常点検による危険個所の把握
- ・関連団体との日常的な情報交換

⑦施設/設備ごとの事故防止策の徹底

- ・各エリアの危険個所の洗い出しおよび共有

⑧職員への教育体制の確立

- ・一時救命救急の習得
- ・年間研修計画の作成

8 安全管理について

(1) 平常時の体制

ア 趣旨

事業計画通り、「防災防犯対策」「施設整備の安全対策」「運営管理の安全対策」を念頭に、実施致しました。

イ 具体的取組内容（実施事項）

①安全・安心を実感できる施設への取組

- ・安全・安心の体系を日々の巡回警備やスタッフ情報共有にて確立した

②危機管理体制・横浜市との連携

- ・有事(災害)発生時の参加者(職員)避難状況および設備影響の迅速な情報共有
西区総務課防災担当との連携
- ・風水害避難場所開設訓練 (6/3)
- ・災害時帰宅困難者一時待機場所開設訓練 (8/15) (11/2)
- ・災害備蓄品の現状調査 (5/11)
- ・災害発生時の各社ベンダーの「災害時ドリンク供給」を実施 (4/2 から)
※現時点で発生実歴無し

③ プール水面監視の強化

- ・各種条例やマニュアルに基づいた監視体制にて、社内有資格者にて研修（監視員認定制度）を実施し、認定に基づいた質の高い監視員の配置を実施した

④ あらゆるリスクの洗い出し

巡回監視を徹底し、「見て・聴いて・感じて」を念頭に行動した

⑤ リスク対応策の考察

館長不在時においても、出勤社員が責任者として行動できるように教育

⑥ 全てのリスクに対応できる危機管理能力の習得

他社、他施設での事故案件を共有し、スタッフの危機管理意識の向上に努めた

⑦ 施設/設備ごとの事故防止策の徹底

巡回点検の徹底と不具合個所の早期発見と早期解決に努めた

⑧ 職員への教育体制の確立

プール及び貸室や教室で発生しうる症例を事前確認

- ・消防訓練（消火、通報、避難誘導）の実施（年2回）
- ・消火設備等、緊急時発生時の機器確認（休館日に常勤社員対象）
- ・プール監視業務の随時確認研修（半期及び新規採用時）
- ・eラーニングを使用した各種安全研修

AED操作方法、CPR方法、

総括 横浜市西区役所への緊急時の報告方法を段階的に分け、区役所閉所時間である、土日夜間に発生した際の連絡方法を再確認し、当該係長への第一報を適切に実施できた。

8 安全管理について

(2) 緊急時の体制

ア 趣旨

災害・事件等の万が一の事態が発生した際でも、迅速かつ適切な行動が全職員で取れるよう、緊急時の体制が整えられるよう日頃から危機意識を持ち業務に努めます。

イ 具体的取組内容（実施事項）

- ①緊急時の指揮命令系統
 - ・自衛消防隊の組織
- ②大雨による風水害の対応
 - ・利用者の安全確保
 - ・排水設備への落ち葉等障害物の除去
- ③河川氾濫による浸水対応
 - ・横浜市防災情報の確認
 - ・土嚢等による浸水防止策
- ④地震発生時の対応
 - ・災害備蓄品の用意
 - ・帰宅困難者の受入
 - ・事業継続計画(BCP)の構築
- ⑤火災発生時の対応
 - ・避難訓練の実施
- ⑥スポーツ傷害事故
- ⑦プールでの溺水事故
 - ・水難事故防止に対する有資格の配置
- ⑧盗難等の犯罪行為
- ⑨予防管理体制の確立
 - ・避難誘導訓練の実施
 - ・AEDの設置計画と点検
 - ・危機管理マニュアルの作成
- ⑩補償体制について

保険の種類	保険内容	補償限度額
施設賠償責任保険	施設側の瑕疵により、お客様の身体および物品等に被害が生じた場合の賠償保険	身体：1億円 財物：1億円

8 安全管理について

(2) 緊急時の体制

ア 趣旨

事業計画書の通り、実施致しました。

イ 具体的取組内容（実施事項）

- ①緊急時の指揮命令系統
 - 自衛消防隊を結成し休館日を利用した自主訓練の実施とフォーマットの確認
※年2回の総合防災訓練にて確認（9/20・2/20）
- ②大雨による風水害の対応
 - 西区総務課防災担当との情報交換と訓練の実施（6/3）
- ③河川氾濫による浸水対応
 - 西区総務課防災担当との情報交換と訓練の実施（6/3）
- ④地震発生時の対応
 - 横浜市提供の災害備蓄品の確認。災害時に使用できる自動販売機（災害ベンダー）の設置。帰宅困難者の一次受け入れ施設としての訓練の実施
その他、西区総務課防災担当との情報交換及び自主訓練の実施（8/15）（11/2）
- ⑤火災発生時の対応
 - 年2回（9/20・2/20）の「総合消防訓練（初期消火・通報・避難誘導）」を実施。令和5年2月に発生した「火災報知器の誤作動」による一次避難の際も、消防と連携をとって対応ができた。
- ⑥スポーツ傷害事故
 - 西区地域振興課への報告と弊社総務部との確認での対応
令和4年度中に「施設賠償責任保険」の適応無し、但し、弊社の「お見舞金制度」を活用した案件が1件あり
- ⑦プールでの溺水事故
 - 水難事故防止の訓練実施及び責任者の配置
- ⑧盗難等の犯罪行為
 - 対応フローの確認と発生時の連絡体制の確認訓練の実施。令和4年度中、特に発生事案無し
- ⑨予防管理体制の確立
 - 法令で決められた訓練以外にも適時（開館前・開館中・閉館前）、確認を実施
- ⑩補償体制については計画の通り
令和4年度は対応事案無し

9 地域との協力について

(1) 地域支援

<p>ア 趣旨</p> <p>西区のスポーツ活動の拠点として、西区スポーツ協会を中心とした地域団体と密接な関係を構築し、西区のスポーツ振興を図ります。</p> <p>イ 具体的取組内容（実施事項）</p> <p>① 誰もが運動に親しめる機会の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開館時間を延長し、スポーツに親しめる機会を創出 (平日)午前7時30分～午後11時、(日祝)午前7時30分～午後9時の営業 ※コロナの感染状況を考慮し、時期未定 ・子ども教室を開催し、体を動かす楽しさを提供 <p>定期教室32講座の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土曜日の無料開放(対象:高校生相当以下)にスポーツの機会を提供 ・エアロビクス等の教室を開催し、体を動かす機会の提供 <p>スポーツ教室37講座の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヨガ等の静的教室を開催し、運動が苦手な方への運動機会の提供 初心者でも安心して参加できる教室20講座以上開講 ・高齢者向け教室を開催し、健康寿命の延伸に寄与 らくらく体操等4講座 ・障害者スポーツ教室を開催し、障害者の運動機会の創出 ・WEBGYMを活用したいいつでもできる運動の実践 <p>②地域に則した運動の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横浜市スポーツ協会主催の事業に協力したスポーツ振興の推進 横浜マラソンの参加を想定したランニング事業の展開等 ・「利用者懇談会」を実施した地域の運動ニーズの把握 来場目的・来場回数・実施したい事業等のヒアリング(年1回) ・地域団体との連携を構築したスポーツ事業の支援 R4年度は、各団体への情報交換を中心に実施 ・自販機収入の一部をスポーツ備品購入の財源とした西区スポーツ協会へ寄贈による当該団体の運営協力・支援 ・自販機収入の5%を原資としたスポーツ備品の購入・寄贈 ・市内学校が主催するスポーツ事業に参画したスポーツ振興の推進 ・地域の区民利用施設へ出向いて出張講座の開催 西区内地域センター・ケアプラザへの高齢者教室事業の実施(イベント) ・地域で開催されるスポーツ事業への用具貸出

9 地域との協力について

(1) 地域支援

<p>ア 趣旨</p> <p>令和4年度は次の内容を実施致しました。</p> <p>イ 具体的取組内容（実施事項）</p> <p>① 誰もが運動に親しめる機会の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開館時間を延長し、スポーツに親しめる機会を創出 令和4年10月(プールは11月)より(平日)午前9時～午後11時、(日祝)午前9時～午後9時の営業 ※コロナの感染状況を考慮し、西区と協議の上実施致しました。 ※令和5年度4月より(平日)午前7時30分～午後11時、(日祝)午前7時30分～午後9時の営業とする事を決定しております。 スポーツ教室及び講座開講については、計画通りに実施※無料開放未実施 スポーツ教室定期(大人小人)55講座・初心者でも参加できる教室22講座 障害者スポーツ教室については、外部研修会等に参加し積極的な支援を講じるが、コロナ禍の中、各種団体との連携が図れず、本年度未実施。 WEBGYMについては、「リアル運動」を先決に考え、本年度未実施。 <p>② 地域に則した運動の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横浜市スポーツ協会主催「スポーツレクリエーションフェスティバル」に参画し実施。 ・「横浜マラソン参加(12名)」の補助。ランニングイベントの実施 ・「利用者懇談会」については未実施。 ・地域団体との連携として町内会年度集会における貸室の提供(研修室) ・高齢者向け教室のイベント開催(パワトレ) ※10月より当日教室の開催 ・「西区役所高齢・障害支援課」による「元気づくりステーション」開催(11回)の支援(貸室提供) ・地域団体との連携として、周辺の小中学校の「社会科事業」への協力 小学校児童の施設見学会、中学校生徒の職場体験受入 市内学校が主催するスポーツ事業振興の推進はコロナ禍にて未実施 ・自販機収入の一部を財源とした運営協力や寄贈は令和5年度以降に実施 ・地域団体との連携として、出張講座(11月以降)を野毛山荘(老人福祉センター)にて「高齢者向け運動指導」を実施(5回)。西SCより副館長1名が要員として現地で運動指導を行った。 ・令和5年3月実施の「紙ヒコーキ大会(西区地域振興課)」の支援(貸室提供) ・地域で開催されるスポーツ事業への用具貸出の実施(予約から貸出返却まで)

9 地域との協力について

(2) 地域連携・地域貢献

<p>ア 趣旨</p> <p>地域に根付いた運営を行うため、地域の課題等を把握し、改善するため、地域の各施設・各団体、そして地域住民と協働した取り組みを実施します。</p> <p>イ 具体的取組内容（実施事項）</p> <p>① 各団体・施設との連携の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西区スポーツ推進委員連絡協議会と連携し、地域活動に協力します。 当該団体主催の活動に関する集客協力、当団体主催イベント事業の講師依頼 ・西区青少年指導員協議会と連携し、同協議会主催イベントに協力します。 当該団体主催事業の場所の提供、作品展示場所の提供 ・西区内地域ケアプラザ(浅間台地域ケアプラザ・宮崎地域ケアプラザ・藤棚地域ケアプラザ・戸部本町地域ケアプラザ)と連携し、高齢者の運動機会の増加。 相互送客のための広報物の設置、情報交換の実施 ・西区内地区センター(西地区センター・藤棚地区センター)への出張講座を開催します。 ・新年賀詞交換会へ参加し、情報交換を行います。 ・横浜市や西区の主催事業に協力し、地域の賑わいを創出します。 ・区民利用施設との連携し、相互送客を図ります。 施設連携推進会議への参加、各施設との連携事業の提案 ・西消防署と連携した地域の防災活動の普及 区民参加型の消防訓練や一時救命救急講習の実施 ・戸部警察署と連携した地域の防犯活動の普及 防犯情報の受信及び必要に応じた来場者への注意喚起、振り込め詐欺等の防犯啓発 ・教育委員会と連携し、不登校児のスポーツ交流会に協力します。 ・障害者団体へ就労機会確保のための館内美化業務(一部)の発注 <p>② 区民の方と協働した事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキングを活用した地域貢献をします。 ウォーキングポイントリーダーの設置、ウォーキングコースの配布 ・地域ボランティア活動へ支援・協力します。 西区社会福祉協議会と情報共有し、清掃ボランティア等の集客や職員参加 ・地域のチャリティー活動へ協力します。 各種募金活動への協力 ・地域住民を積極的に雇用します。 ・市内中学校の職業体験の受入を行います。

9 地域との協力について

(2) 地域連携・地域貢献

<p>ア 趣旨</p> <p>令和4年度は次の内容を実施致しました。</p> <p>イ 具体的取組内容（実施事項）</p> <p>① 各団体・施設との連携の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西区スポーツ振興事業推進委員会の委員として参画委員としての部会参加 ハマのウォーキングフェスティバルの準備体操及び先導とアテンドを実施 ・西区スポーツ協会との連携 さわやか事業で使用する用具の管理及び貸出業務 協会主催の団体利用(大会等)時の補助(備品の貸出と用具回収等) ・横浜市スポーツ協会との連携 主催行事(優先利用団体)の補助(備品の貸出と用具回収等) ・野毛山荘主催の健康事業への協力 ・新年賀詞交換会へ参加し、情報交換の実施 ・横浜市や西区の主催事業に協力 西区総務課防災担当と連携した地域の防災活動の普及 東日本大震災(3/11)の「語べ講座」を開催 ・西区地域子育て支援拠点「スマイルポート」との情報交換 尚、当初事業計画をしていた各団体(区内ケアプラザ、区内地区センター、西消防署、戸部警察、教育委員会、障害者団体)とはコロナ禍により、講座や活動が制限され未実施なものについては、令和5年度に実施して参ります。 <p>② 区民の方と協働した事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキングポイントリーダーの設置、ウォーキング事業の申込斡旋 ・近隣町内会主催の「清掃活動(浅間町公園)」へ職員を派遣し活動補助を実施 ・公共性のある地域活動の啓蒙(ポスターの掲示等)補助 ・年末たすけあい募金の協力(募金箱の設置と引渡までの保管管理) ・地域住民の積極的な雇用の実施 ・市内(区内)小中学校の「職場見学」「職場体験」の受入実施。

10 モニタリング計画について

(1) 自己評価・第三者評価

ア 趣旨

横浜市指定管理者制度運用ガイドラインにおけるモニタリング手法に従い、PDCAサイクルにおけるマネジメントシステム機能を用いてモニタリングを行います。施設の管理運営の水準について、日常のかつ継続的に確認を実施します。

イ 具体的取組内容（実施事項）

①モニタリングの手法

- ・モニタリング手法
- ・評価の報告方法

種別	内容
自己評価の取組 (OAKSに列挙)	<ul style="list-style-type: none"> ○総括責任者は、運営スタッフが提供する各種サービス内容を点検・評価するための日常(毎日)及び定期的(月1回以上)なセルフモニタリングを実施します。 ○セルフモニタリングの実施状況や総括責任者の業務内容及びマネジメント能力等については、当団体各社の担当社員が定期的に施設を訪問し、客観的な視点でチェックします。 ○セルフモニタリングが形式化しないよう不定期(抜き打ち)なチェックも行います。
施設所管による モニタリング	<ul style="list-style-type: none"> ○協定書及び毎年作成・提出を行う事業報告書の記載項目に基づく管理運営状況の確認をご依頼する。 <ul style="list-style-type: none"> ・事業報告書記載項目 管理経費の支出状況・利用料金の収入状況・利用者数、自主事業への参加者数等・自主事業の実施状況施設の管理状況、施設点検の実施状況及び結果等 ○日常の管理運営の状況を把握し、持続的改善を促すことを目的として、定期的(毎月又は四半期ごと)にモニタリングをご依頼する。 <ul style="list-style-type: none"> ・項目 関係書類の確認(例:日報、利用申請書、経理関係書類等)・実地調査の実施・適切な指示・指導の実施・指示・指導に対する改善状況の確認 ○計器類等の確認、備品については、物品管理簿と現物の突き合わせを行い管理状況等を確認をご依頼する。
利用者モニタリング の実施	<ul style="list-style-type: none"> ○受付やご意見BOX、アンケート等、利用者からの要望や意見等を総合的に分析、データベース化します。 ○当団体各社関係者にモニターとして施設を訪問・利用してもらい、利用者視点での指摘や意見等を集約します。

②その他のセルフモニタリング

- ・各社の担当部署によるセルフモニタリング
- ・利害関係者(利用者、委託先業者等)へのモニタリング
- ・近隣住民へのモニタリング(ヒアリングやアンケート)
- ・電話/FAX/ホームページによる意見や要望の収集
- ・備品管理と日常点検

③従業員間の情報共有と連携

- ・職員ミーティングでの情報共有
- ・従業員研修の実施

10 モニタリング計画について

(1) 自己評価・第三者評価

ア 趣旨

実践、評価、改善のプロセスについて次の通り取り組みました。

イ 具体的取組内容（実施事項）

① モニタリングの手法

- ・教室参加者（WEB申込者）申込時のアンケート実施
※期事にWEB申込者へアンケートを実施（年齢や住居エリア等）
認知方法や在勤・在住・在学・過去参加歴など
施設利用者向けアンケート（二次元QRコード）の実施（10月）
教室参加者及び保護者向けのアンケート（紙面）を実施（第4期2月）
大人対象者 320名回収率 57% 子供（キッズ） 215名回収率 21%
評価については、各データをエクセルにまとめ報告

②その他のセルフモニタリング

- ・本社カスタマーセンターへのご意見とご要望を原則 72 時間以内に返答
電話問い合わせ内容の社員間共有（掲示板配信）
お客様の声の収集と西区への報告

③従業員間の情報共有と連携

- ・毎月休館日内に共同事業体責任者を含む常勤社員にてミーティングの実施
前月の報告と当月次月の運営進捗状況を共有
特に安全管理上の問題点（事故・事件）については、情報の共有を徹底。
- ・従業員との連絡共有内容については、ICT活用にて「従業員向け情報伝達連絡」は OAKS 店舗掲示板を使用。

11 新型コロナウイルス感染症等の対策に関する取組

(1) 新型コロナウイルス感染症等への対応

ア 趣旨

国の新型コロナウイルス感染症対策の基本対処方針に基づき、事業の再開・継続と感染拡大予防を目的とした業種ごとのガイドラインに合わせ感染予防策の実施に取り組みます。

イ 具体的取組内容（実施事項）

①各種ガイドラインの徹底

②入館時の感染防止策

- ・マスク着用、手指消毒の徹底
- ・利用者数の制限

③施設で取り組む感染防止策

- ・ピクトグラムの使用し、わかりやすい防止策の提示

④業務別の感染防止策

- ・受付や事務所でのパーティション

⑤教室事業実施時の感染防止策

- ・定員の設定など参加者への感染防止策
- ・用途に合わせたマスクの着用
- ・インターネット等非接触での教室申込

⑥熱中症予防に関する感染防止策

⑦一次救命手当の感染防止策

- ・「新型コロナウイルス感染症の流行を踏まえた救急蘇生法について(指針)」
- ・エアロゾル飛散防止布を活用した救命救急

⑧従業員への教育・研修

⑨感染が発生した場合の対応

⑩臨時休館時の臨時職員や委託者への補償

⑪料金収入減に対する対応策

- ・WEBなどを活用したレッスン展開
- ・教室事業の単価の見直し
- ・コロナ感染状況に応じた各エリアの定員設定の緩和

11 新型コロナウイルス感染症等の対策に関する取組

(1) 新型コロナウイルス感染症等への対応

ア 趣旨

令和4年度については、以下の通り実施

イ 具体的取組内容（実施事項）

①各種ガイドラインの徹底

スポーツ庁及び横浜市のガイドラインを遵守

②入館時の感染防止策

マスク着用、手指消毒の徹底。利用者数の制限（団体個人利用）

③施設で取り組む感染防止策

社内共通のピクトグラムを使用し、館内各所へわかりやすい防止策の提示。

④業務別の感染防止策

受付や事務所、トレーニング室内でのパーティション設置

⑤教室事業実施時の感染防止策

定員の設定など参加者への感染防止策の実施

用途に合わせたマスクの着用。来館申し込みを減少させるWEB非接触での教室申込

⑥熱中症予防に関する感染防止策

運動中のマスク着用の判断変更。給水の徹底啓蒙。緊急時用飲料水の用意。

⑦一次救命手当の感染防止策

「新型コロナウイルス感染症の流行を踏まえた救急蘇生法について(指針)」

感染予防徹底の為、クラスター発生など緊急対応は無し

⑧従業員への教育・研修

都度、最新情報の共有。従業員感染防止の徹底

⑨感染が発生した場合の対応

部及び西区への迅速かつ的確な報告を実施

⑩臨時休館時の臨時職員や委託者への補償

発生事案無し

⑪料金収入減に対する対応策

当日教室や定期教室の単価調整を実施。適時、ガイドラインの最新状況を確認し、各エリアの定員設定の緩和を実施。それにより教室の参加定員も緩和して対応。

様式4 利用状況表(人数)

令和4年4月1日~令和5年3月31日

平日 230 土曜 50 日祝 66

西スポーツセンター

令和5年5月31日

区分	団体・個人合計			団体利用												個人利用					
	合計	一般	小人	団体合計 人数	合計		平日		土曜		日祝		個人合計 人数	合計		平日		土曜		日祝	
					一般	小人	一般	小人	一般	小人	一般	小人		一般	小人	一般	小人	一般	小人	一般	小人
メ イ ン ア リ ー ナ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
A	5,201	4,769	432	5,190	4,758	432	2,901	123	627	4	1,230	305	11	11	0	11	0	0	0	0	0
B	5,634	5,142	492	5,634	5,142	492	3,366	130	559	15	1,217	347	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C	5,615	4,911	704	5,607	4,903	704	3,095	167	639	93	1,169	444	8	8	0	8	0	0	0	0	0
D	5,442	4,217	1,225	5,428	4,203	1,225	2,497	847	586	65	1,120	313	14	14	0	14	0	0	0	0	0
E	5,175	4,060	1,115	5,163	4,048	1,115	2,519	992	672	3	857	120	12	12	0	8	0	0	0	4	0
F	4,011	3,521	490	4,011	3,521	490	2,349	419	498	54	674	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0
深夜	1,526	1,517	9	1,526	1,517	9	1,213	9	304	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	32,604	28,137	4,467	32,559	28,092	4,467	17,940	2,687	3,885	234	6,267	1,546	45	45	0	41	0	0	0	4	0
サ プ ア リ ー ナ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
A	3,009	2,691	318	3,009	2,691	318	1,439	14	889	1	363	303	0	0	0	0	0	0	0	0	0
B	4,007	3,868	139	4,007	3,868	139	2,667	26	722	0	479	113	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C	4,128	3,999	129	4,128	3,999	129	2,767	12	577	6	655	111	0	0	0	0	0	0	0	0	0
D	3,265	3,062	203	3,265	3,062	203	1,888	69	582	30	592	104	0	0	0	0	0	0	0	0	0
E	4,001	2,692	1,309	4,001	2,692	1,309	1,695	1,136	442	173	555	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
F	3,655	3,322	333	3,655	3,322	333	2,543	130	294	138	485	65	0	0	0	0	0	0	0	0	0
深夜	290	283	7	290	283	7	240	0	43	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	22,355	19,917	2,438	22,355	19,917	2,438	13,239	1,387	3,549	355	3,129	696	0	0	0	0	0	0	0	0	0
研 修 室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
A	1,454	1,078	376	1,454	1,078	376	666	9	306	78	106	289	0	0	0	0	0	0	0	0	0
B	1,563	1,098	465	1,563	1,098	465	741	8	120	102	237	355	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C	1,517	1,224	293	1,517	1,224	293	698	0	182	79	344	214	0	0	0	0	0	0	0	0	0
D	898	756	142	898	756	142	397	39	171	15	188	88	0	0	0	0	0	0	0	0	0
E	2,020	1,871	149	2,020	1,871	149	1,078	81	373	0	420	68	0	0	0	0	0	0	0	0	0
F	2,232	1,804	428	2,232	1,804	428	1,219	365	193	19	392	44	0	0	0	0	0	0	0	0	0
深夜	212	204	8	212	204	8	183	4	21	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	9,896	8,035	1,861	9,896	8,035	1,861	4,982	506	1,366	297	1,687	1,058	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ト レ ー ニ ン グ 室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
A	10,173	10,135	38	10,173	10,135	38	6,177	17	1,775	8	2,183	13	10,173	10,135	38	6,177	17	1,775	8	2,183	13
B	6,030	6,014	16	6,030	6,014	16	3,622	6	1,052	2	1,340	8	6,030	6,014	16	3,622	6	1,052	2	1,340	8
C	6,446	6,435	11	6,446	6,435	11	4,022	5	1,065	4	1,348	2	6,446	6,435	11	4,022	5	1,065	4	1,348	2
D	6,732	6,705	27	6,732	6,705	27	4,276	18	1,063	1	1,366	8	6,732	6,705	27	4,276	18	1,063	1	1,366	8
E	7,948	7,906	42	7,948	7,906	42	5,451	23	1,132	4	1,323	15	7,948	7,906	42	5,451	23	1,132	4	1,323	15
F	4,673	4,665	8	4,673	4,665	8	3,540	8	589	0	536	0	4,673	4,665	8	3,540	8	589	0	536	0
深夜	946	946	0	946	946	0	809	0	137	0	0	0	946	946	0	809	0	137	0	0	0
小計	42,948	42,806	142	42,948	42,806	142	27,897	77	6,813	19	8,096	46	42,948	42,806	142	27,897	77	6,813	19	8,096	46
ブ ー ル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
A	17,922	16,840	1,082	843	825	18	799	18	0	0	26	0	17,079	16,015	1,064	10,019	138	2,664	342	3,332	584
B	11,566	10,994	572	1,501	1,497	4	1,497	4	0	0	0	0	10,065	9,497	568	5,305	84	1,910	142	2,282	342
C	11,001	9,780	1,221	1,204	1,186	18	1,186	18	0	0	0	0	9,797	8,594	1,203	4,798	224	1,852	298	1,944	681
D	11,041	9,422	1,619	968	961	7	961	7	0	0	0	0	10,073	8,461	1,612	4,912	612	1,490	542	2,059	458
E	11,607	10,606	1,001	1,303	1,295	8	1,295	8	0	0	0	0	10,304	9,311	993	5,811	447	1,546	184	1,954	362
F	7,175	6,973	202	866	788	78	788	78	0	0	0	0	6,309	6,185	124	4,446	49	866	53	873	22
深夜	868	868	0	181	181	0	163	0	18	0	0	0	687	687	0	586	0	101	0	0	0
小計	71,180	65,483	5,697	6,866	6,733	133	6,689	133	18	0	26	0	64,314	58,750	5,564	35,877	1,554	10,429	1,561	12,444	2,449
総 合 計	合計人数	一般	小人	団体 合計 人数	合計	一般	小人	平日	土曜	日祝	個人 合計 人数	合計	一般	小人	平日	土曜	日祝	一般	小人	一般	小人
	178,983	164,378	14,605	71,676	62,777	8,899	42,850	4,713	8,818	886	11,109	3,300	107,307	101,601	5,706	63,815	1,631	17,242	1,580	20,544	2,495

※一般：高校生以上
※小人：中学生以下

様式5 種目別利用者数

令和4年4月1日～令和5年3月31日

令和5年5月19日

西スポーツセンター

種目	団体数	団体人数			個人人数			計
		一般	小人	小計	一般	小人	小計	
バドミントン	195	2,876	85	2,961	29	12	41	3,002
卓球	29	423	25	448	3	1	4	452
バレーボール	169	3,928	158	4,086	0	0	0	4,086
バスケットボール	526	9,669	1,614	11,283	0	0	0	11,283
体操・エアロビクス	295	8,798	1,900	10,698	0	0	0	10,698
武道	323	4,250	328	4,578	0	0	0	4,578
ウェイトリフティング	0	0	0	0	0	0	0	0
トレーニング	0	0	0	0	42,800	148	42,948	42,948
弓道	0	0	0	0	0	0	0	0
ダンス	1,592	16,037	2,504	18,541	0	0	0	18,541
水泳	982	6,734	132	6,866	56,233	8,081	64,314	71,180
インラインスケート	0	0	0	0	0	0	0	0
フットサル	411	6,197	935	7,132	0	0	0	7,132
テニス	0	0	0	0	0	0	0	0
ウォーキング	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	1,152	4,375	708	5,083	0	0	0	5,083
合計	5,674	63,287	8,389	71,676	99,065	8,242	107,307	178,983

※一般：高校生以上

※小人：中学生以下

様式7

施設名 西スポーツセンター

託児事業実績報告

令和4年4月1日～令和5年3月31日

令和5年5月31日

No.	事業内容	対象年齢	場所	回数	託児利用料 (1人/時間)	託児利用 人数※1	合計(円) ※2	託児依頼先 ※3	延べ託児 従事者数
令和4年度については「新型コロナウイルス感染症対策」として、託児事業は中止と致しました。									

※1 開催当日、託児を利用した実人数（出席者）

※2 託児利用料は1期分を一括前納のため、合計金額は「申込者数×単価×回数」

※3 依頼先団体の正式名称を記入

様式8 教室別参加者数

令和4年4月1日～令和5年3月31日

令和5年5月31日

西スポーツセンター

教室名	定期/当日	回数	一般	小人	総合計
朝の体操	定期	43	1,193		1,193
社交ダンス	定期	42	943		943
フラダンス入門	定期	44	664		664
クローリング初・中級	定期	39	489		489
火曜アクアビクス	定期	39	288		288
四泳法初中級	定期	39	291		291
四泳法上級	定期	39	96		96
水曜らくらく体操	定期	46	831		831
かんたんピラティス	定期	46	655		655
水曜ヨガ	定期	23	466		466
水曜ピラティス	定期	45	615		615
水彩画	定期	20	130		130
水彩色鉛筆画	定期	18	93		93
アクアビクス（燃焼）	定期	41	689		689
水中健康歩行	定期	40	450		450
卓球教室	定期	43	658		658
木曜ヨガ②	定期	44	1,066		1,066
木曜ヨガ①	定期	44	475		475
絵手紙	定期	40	428		428
四泳法基礎	定期	41	262		262
木曜アクアビクス	定期	40	613		613
気功太極拳	定期	40	918		918
金曜らくらく体操	定期	22	412		412
ベリーダンス	定期	44	458		458
生活習慣病予防改善	定期	44	1,450		1,450
土曜ヨガ	定期	45	733		733
個人参加型フットサル（個サル）	不定期	5	82		82
合計		1,016	15,448	0	15,448

※一般：高校生以上

※小人：中学生以下

様式8 教室別参加者数

令和5年1月1日～令和5年3月31日

令和5年5月31日

西スポーツセンター

教室名	定期/当日	回数	一般	小人	総合計
カワイ体育教室 (キッズ)	定期	36		555	555
カワイ体育教室 (ジュニア)	定期	36		438	438
横浜ビー・コルセアーズバスケットボールクリニック①	定期	43		708	708
横浜ビー・コルセアーズバスケットボールクリニック②	定期	43		471	471
キッズ空手	定期	44		379	379
ジュニア空手	定期	44		502	502
火曜ジュニアスイム	定期	39		438	438
火曜ジュニアスクール	定期	39		350	350
キッズたいいく塾	定期	11		112	112
HIPHOP (ビギナー)	定期	46		735	735
HIPHOP (アドバンス)	定期	44		597	597
水曜キッズスイム	定期	41		447	447
水曜キッズスクール	定期	41		586	586
水曜ジュニアスイム	定期	29		308	308
水曜ジュニアスクール	定期	29		313	313
アスレチック定期トレーニング	定期	24		353	353
キッズチアダンス	定期	44		898	898
ジュニアチアダンス①	定期	44		701	701
ジュニアチアダンス②	定期	44		402	402
ジュニアチアダンス③	定期	44		402	402
木曜キッズスイム	定期	40		327	327
木曜キッズスクール	定期	29		406	406
木曜ジュニアスイム	定期	40		627	627
ジュニア育成	定期	41		170	170
おやこ英語体操・親子エクササイズ	定期	46		387	387
VALUEWORKSミニバス①	定期	44		944	944
VALUEWORKSミニバス②	定期	44		728	728
金曜キッズスイム	定期	40		126	126
金曜キッズスクール	定期	39		286	286
金曜ジュニアスイム	定期	29		360	360
金曜ジュニアスクール	定期	29		207	207
合計		1,186	0	####	14,263

※一般：高校生以上

※小人：中学生以下

様式8 教室別参加者数

令和4年4月1日～令和5年3月31日

令和5年5月31日

西スポーツセンター

教室名	定期/当日	回数	一般	小人	総合計
パワトレ	当日	17	885	0	885
火曜ZUMBA	当日	46	771	0	771
からだいきいきメンテナンス	当日	47	326	0	326
大人の気軽なバレエバーレッスン	当日	45	60	0	60
BODY BALANCE	当日	22	183	0	183
SH'BAM	当日	22	85	0	85
BODY COMBAT	当日	23	770	0	770
エアロビクス初・中級	当日	47	470	0	470
運動能力向上のためのアスレチックトレーニング	当日	35	288	54	342
水曜ZUMBA/オリジナルエアロ	当日	38	368	0	368
木曜ZUMBA	当日	44	769	0	769
リンパボディメンテナンス	当日	48	459	0	459
SH'BAM	当日	24	189	0	189
ボディウエイトピラティス	当日	24	479	0	479
コンディショニングエアロ	当日	24	752	0	752
リラックスヨガ	当日	50	422	0	422
ヨガ	当日	50	205	0	205
サーキットエアロ/BODY COMBAT	当日	22	160	0	160
日曜ヨガ	当日	23	137	0	137
合計		651	7778	54	7832

※一般：高校生以上

※小人：中学生以下

収支決算書

1 総括表

(1) 収入

(円、税込み)

項目	第1四半期 決算額	第2四半期 決算額	第3四半期 決算額	第4四半期 決算額	小計	予算	予算 達成率	備考
①指定管理料	23,741,000	23,736,000	23,736,000	23,736,000	94,949,000	94,949,000	100.0%	
A 横浜市による運営支援				6,086,000	6,086,000			物価高騰の影響を踏まえた横浜市による運営支援
B 横浜市による運営支援(追加分)				16,143,000	16,143,000			物価高騰の影響を踏まえた横浜市による追加分の運営支援
②施設運営収入 (A)	19,205,050	22,927,734	17,310,663	20,170,413	79,613,860	99,371,000	80.1%	
項目								
利用料金収入	9,416,460	10,698,040	7,591,229	9,638,920	37,344,649	39,756,000	93.9%	コロナ禍の影響及び劣化調査によるプール休場の影響による利用者減
利用料金収入(駐車場)	1,443,950	1,611,650	1,115,750	1,251,950	5,423,300	4,754,000	114.1%	駐車場利用者増による収益大
スポーツ教室等事業収入	8,193,949	10,451,818	8,465,047	8,974,613	36,085,427	54,235,000	66.5%	コロナ禍の影響による参加者減
文化系教室収入	121,400	121,400	103,000	187,600	533,400	566,000	94.2%	コロナ禍の影響による参加者減
託児事業収入	0	0	0	0	0	30,000	0.0%	コロナ禍のため未実施
広告業務収入	0	0	0	0	0	30,000	0.0%	対外的広告業務の未実施
その他	29,291	44,826	35,637	117,330	227,084	0	0.0%	契約ロッカー等収入の増
③自主事業による収入	530,990	1,115,035	1,406,442	2,122,219	5,174,686	21,878,000	23.7%	
項目								
スポーツ教室等事業(時間外)	0	0	0	140,280	140,280	4,494,000	3.1%	コロナ禍対応で時間外営業を9月末まで休止による減
飲食事業	269,140	663,715	481,612	570,966	1,985,433	2,508,000	79.2%	自動販売機売上の減
物販事業	251,990	444,280	345,980	449,920	1,492,170	4,800,000	31.1%	コロナ禍のため規模縮小による減
利用料金収入(時間外)	0	0	318,100	334,450	652,550	8,026,000	8.1%	コロナ禍対応で時間外営業を9月末まで休止による減
利用料金収入(駐車場)(時間外)	0	0	197,650	301,900	499,550	1,750,000	28.5%	コロナ禍対応で時間外営業を9月末まで休止による減
その他	9,860	7,040	63,100	324,703	404,703	300,000	134.9%	他団体協力金等の増
合計(②+③)	19,736,040	24,042,769	18,717,105	22,292,632	84,788,546	121,249,000	69.9%	

(2) 支出

46013482 15150

(円、税込み)

項目	第1四半期 決算額	第2四半期 決算額	第3四半期 決算額	第4四半期 決算額	小計	予算	予算 達成率	備考
④維持管理運営費用 (B)	44,460,231	51,512,244	51,137,591	75,590,471	222,700,537	235,776,000	94.5%	
項目								
人件費	8,724,079	10,338,725	11,300,482	11,978,146	42,341,432	44,142,000	95.9%	プール休場他によるパート賃金等の減
修繕費	318,866	358,334	733,132	4,314,940	5,725,272	5,630,000	101.7%	
設備管理費・保安警備費	2,934,104	6,113,434	8,515,394	5,147,947	22,710,879	19,510,000	116.4%	保守管理業務追加(巡回点検)による増
備品購入費・消耗品費	2,730,489	625,956	573,533	628,874	4,558,852	5,623,000	81.1%	初期投資の減少による減
外構・植栽管理費・廃棄物処理費	0	847,000	0	433,569	1,280,569	1,593,000	80.4%	植栽管理費の減
広報費・印刷製本費	33,000	160,684	281,430	160,025	635,139	1,200,000	52.9%	広報・印刷費の抑制による減
光熱水費・燃料費	9,403,471	14,811,097	12,452,804	18,853,395	55,520,767	33,580,000	165.3%	電気・ガス代の高騰による増
保険料	137,265	0	137,265	0	274,530	1,449,000	18.9%	保険料の減
使用料・賃借料	884,751	779,430	832,853	1,416,574	3,913,608	10,308,000	38.0%	想定と実績の差による減
委託料・謝金	17,432,352	16,293,626	15,121,830	18,374,962	67,222,770	91,788,000	73.2%	教室指導料の縮小による減
公租公課	796,026	796,026	796,026	4,902,913	7,290,991	6,410,000	113.7%	計算後税負担額の増
旅費	1,960	5,935	53,509	9,164	70,568	60,000	117.6%	
会議賄い費	0	0	0	0	0	0		
通信運搬費	164,891	167,022	154,398	151,842	638,153	778,000	82.0%	経費節減による減
支払手数料	877,177	183,045	172,216	237,808	1,470,246	1,672,000	87.9%	想定と実績の差による減
会費及び負担金	21,800	0	5,000	0	26,800	160,000	16.8%	想定と実績の差による減
事務経費本部分	0	0	0	8,980,312	8,980,312	11,873,000	75.6%	想定と本社管理部門との経費分配の差による減
その他	0	31,930	7,719	0	39,649	0	0.0%	緊急対応等の雑費としての計上増
⑤自主事業による経費	226,979	294,062	1,173,313	1,409,805	3,104,159	20,964,000	14.8%	
項目								
スポーツ教室等事業(時間外)	0	0	46,200	207,828	254,028	3,400,000	7.5%	コロナ禍対応で時間外営業を9月末まで休止による減
飲食事業	69,099	0	0	409,200	478,299	700,000	68.3%	自販機仕入れの減
物販事業	157,880	294,062	1,127,113	238,976	1,818,031	4,038,000	45.0%	コロナ禍のため規模縮小による減
その他	0	0	0	553,801	553,801	12,826,000	4.3%	時間外貸館経費の縮小による減
合計(④+⑤)	44,687,210	51,806,306	52,310,904	77,000,276	225,804,696	256,740,000	88.0%	

60259900 11,619,685

(3) 収支差額(自主事業除く)

(千円、税込み)

項目	第1四半期 決算額	第2四半期 決算額	第3四半期 決算額	第4四半期 決算額	小計	予算	備考
収支差額= (収入(①+②)+(A+B))-支出 (④)	-1,514	-4,849	-10,091	-9,455	-25,909	-41,456	横浜市支援金含む

収支決算書

2 指定管理・収入の部

	内 訳	合計金額 (円、税込み)	
合計 (A)		79,613,860	
利用料金収入		37,344,649	
項 目	メインアリーナ(貸切利用)	団体利用料金	2,790,750
	サブアリーナ(貸切利用)	団体利用料金	1,270,500
	研修室(貸切利用)	団体利用料金	829,850
	プール(貸切利用)	団体利用料金 ※7/23～8/31まで全日団体利用不可期間 ※10/3～11/2までプール天井調査にて休場	1,824,000
	メインアリーナ(個人利用)	個人開放利用料金	5,670
	トレーニング室(個人利用)	個人利用料金	12,789,169
	プール(個人利用)	個人利用料金 ※10/3～11/2までプール天井調査にて休場	17,269,910
	附帯設備	音響・冷暖房使用料金	564,800
利用料金収入(駐車場)	駐車場利用料金	5,423,300	
スポーツ教室等事業収入	教室参加料金	36,085,427	
文化系教室収入	教室参加料金	533,400	
託児事業収入	コロナ対策にて令和4年度未実施	0	
広告業務収入		0	
その他	契約ロッカー、体組成分測定(TANITA)、ランニングステーション等	227,084	

※ 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

収支決算書

3 指定管理・支出の部

		積算内訳	合計金額 (円、税込み)
合計	(B)		222,700,537
項 目	人件費	給与・賞与・厚生福利費・通勤手当・その他下記参照 ※時間外利用の人件費を除く	42,341,432
	(給与・賃金)		35,970,832
	(社会保険料)		4,374,758
	(通勤手当)		1,995,842
	(健康診断費)		
	(勤労者福祉共催掛金)		
	(退職給付引当金繰入額)		
	修繕費		5,725,272
	(駐車場に係るもの)		0
	(その他)		5,725,272
	設備管理費	設備保守管理	22,160,879
	保安警備費	国際警備株式会社※報知器故障による夜間巡回含む	550,000
	備品購入費	パーテーション設置	220,000
	消耗品費		4,338,852
	(駐車場に係るもの)	駐車券・レシートロール等	54,230
	(その他)	事務用品・衛生管理用品・ペーパー類等	4,284,622
	外構・植栽管理費	外構植栽管理(年3回)	1,012,000
	廃棄物処理費	令和4年度市役所ごみゼロルート回収(4/19確定)	268,569
	広報費	広報誌ARIFT掲載	596,114
	印刷製本費	館内販促用画像撮影、教室訴求のぼり作成	39,025
	光熱水費	計上月ゾレ有 使用実績より算出	55,520,767
	(電気)	期中電気会社変更	27,641,398
	(ガス)		17,024,290
	(水道)		10,855,079
	燃料費		0
	保険料		274,530
	(施設賠償責任保険)		274,530
	(火災保険・自動車保険)		
	(その他)		
	使用料・賃借料		3,913,608
	(市への支払)	目的外使用料:自動販売機409,200円 物販195,399円	604,599
	(リース料)	契約ロッカー、会計システム、Buscatshシステム等	1,946,135
	(その他)	減価償却費 第3四半期よりすべてリース料で計上	1,362,874
	委託料		67,222,770
	(駐車場に係るもの)	10月より21:00~23:00までの業務委託費追加	8,097,817
	(その他)	教室指導料、プール委託料	59,124,953
	謝金		0
	公租公課費		7,290,991
	(事業所税)		3,184,099
	(消費税)	給与・社会保険・施設賠償保険	4,106,892
(印紙税)		0	
(その他)		0	
旅費		70,568	
会議賄い費		0	
通信運搬費		638,153	
支払手数料		1,470,246	
会費及び負担金		26,800	
(職員等研修費)	資格取得研修費(16,800円)登録年会費(5,000円)	21,800	
(その他)	西区スポーツ協会賛助会費	5,000	
事務経費本部分	令和4年度 本部経費(4/22確定)	8,980,312	
その他	駐車場緊急対応(利用者)タクシー代、高速代 季節イベント 雑費	39,649	

※1 次の例を参考に記載してください。
人件費・・・報酬、賃金、手当、社会保険料、福利厚生費など
※2 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

収支決算書

4 自主事業・収入の部

		内 訳	合計金額 (円、税込み)
合計			5,174,686
項 目	スポーツ教室等事業(時間外)	時間外(21:00~23:00)教室	140,280
	飲食事業	自動販売機飲料販売料金	1,985,433
	物販事業(レンタル)	期中レンタル品開始	15,150
	物販事業(物品販売)	スポーツ用品(水着、キャップ、ゴーグル、タオル等)	1,477,020
	利用料金収入(時間外)	令和4年10月より一部再開	652,550
	利用料金収入(駐車場)(時間外)	令和4年10月より一部再開	499,550
	その他	ランニングイベント、館内イベント、館外イベント 健康指導料(他施設派遣)、施設協力金(スポーツ協会)	404,703

※ 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

収支決算書

5 自主事業・支出の部

	内 訳	合計金額 (円、税込み)	
合計		3,104,159	
項 目	スポーツ教室等事業(時間外)	時間外(21:00~23:00)教室支出(委託料)	254,028
	飲食事業	第1四半期 仕入費	478,299
	物販事業(物品販売)	仕入費(スポーツ用品等)	1,818,031
	物販事業(レンタル)		0
	利用料金(時間外)	人件費(21:00~23:00)	448,800
	駐車場(時間外)	業務委託料にて計上	0
	その他	プール物販販売手数料(日本水泳振興会)	105,001
	自主事業利益還元物品		0

※ 必要に応じて小区分を設定しても構いません。